
2025 年度
履修の手引き
【2023年度以前入校生用】

Nitobe College

北海道大学 新渡戸カレッジ
学部教育コース

I.	新渡戸カレッジについて	1
1.	新渡戸カレッジの教育理念と目標	2
1-1.	北海道大学の教育研究に関わる基本理念	2
1-2.	新渡戸カレッジの設立	2
1-3.	新渡戸カレッジ入校の方針（アドミッションポリシー）	2
1-4.	新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシー）	2
1-5.	新渡戸カレッジ修了認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）	3
2.	令和6年度からの新渡戸カレッジについて	3
3.	新渡戸カレッジオナーズプログラムの構成	3
4.	オナーズプログラム学部教育コースの構成	3
4-1.	オナーズプログラム学部教育コースで学ぶこと	3
4-2.	オナーズプログラムへの入校時期について	4
5.	オナーズプログラムへの入校から修了まで	4
5-1.	オナーズプログラムへの入校申請について	4
5-2.	毎年度の在籍確認について	4
5-3.	オナーズプログラムの修了要件について	5
5-4.	修了者への称号授与について	5
5-5.	称号授与の基準	5
5-6.	オナーズプログラムの退校について	6
II.	新渡戸カリキュラムについて	7
1.	履修における注意点	8
2.	新渡戸カリキュラムの授業科目	10
2-1.	留学支援英語（全学教育科目：英語演習（上級））	10
2-2.	フィールド型演習（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））	12
2-3.	多文化交流科目（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））	13
2-4.	海外短期語学研修（サマープログラム、スプリングプログラム）	13
2-5.	国際交流科目	13
2-6.	日本文化・社会に関する理解増進科目	14
2-7.	大学と社会（全学教育科目：総合科目（特別講義））	14

2-8.	グローバル・キャリア・デザイン	14
2-9.	新渡戸学（フェローゼミ）※参考情報	14
2-10.	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	15
2-11.	専門横断科目	16
2-12.	英語による学部専門科目	16
2-13.	インターンシップ（国内）	17
2-14.	海外留学	17
2-15.	新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシーと各授業科目）	22
III.	学びを充実させるためのしくみ	23
1.	フェロー・メンター制度	24
1-1.	フェロー・メンター制度の意義について	24
1-2.	フェローの担当する授業について	24
2.	チューター制度	24
2-1.	チューター制度の意義について	24
2-2.	チューターの募集について	24
2-3.	コアチューターについて	25
2-4.	チューターの採用スケジュール（予定）について	25
3.	授業以外のプログラム・行事	26
3-1.	ポイント制度	26
3-2.	講演会・レクチャーシリーズ	26
3-3.	入校式（新渡戸カレッジ生・フェローと関わる行事）※参考情報	27
3-4.	その他の大学による行事・プログラム	27
3-5.	学外のコンペティション等への参加・学生による企画	28
3-6.	学生による企画行事	28
4.	活動・交流の場：新渡戸カレッジ学生交流室（大塚ルーム）	29
4-1.	利用対象者	29
4-2.	利用可能時間帯	29
4-3.	利用予約方法	29
4-4.	利用にあたっての注意事項	29
IV.	新渡戸カレッジ関連資料	30
1.	新渡戸カレッジ相談先	31

2.	新渡戸カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項	32
3.	新渡戸カリキュラムの履修手続き・英語試験情報	34
4.	履修に関するQ & A	34
5.	新渡戸カレッジ奨励賞	35
	2025 年度の予定（4～9 月）	36
	2025 年度の予定（10～3 月）	37
V.	巻末資料	38
	別表：国際交流科目	39
	別表：日本文化・社会に関する理解増進科目	45
	別表：専門横断科目	47
	別表：英語による学部専門科目	50
VI.	参考資料	59
	統合情報共有プラットフォーム「Unire」（ユニーレ）について	59

本手引きは、学部カリキュラムについて記載しています。大学院カリキュラムに関心のある方は、下のQRコードより新渡戸カレッジウェブサイトアクセスして関連する情報をご覧ください。



I. 新渡戸カレッジについて

1. 新渡戸カレッジの教育理念と目標

1-1. 北海道大学の教育研究に関わる基本理念

北海道大学は、理系から文系までの全分野において大学院での研究や教育に重点を置く、日本を代表する基幹総合大学の一つです。その起源は、1876年に設立された札幌農学校に遡ることができます。帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史の中で、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念が生まれ、今日まで学問の自主、自由の精神を培ってきました。

1-2. 新渡戸カレッジの設立

札幌農学校第二期生である新渡戸稲造は、その豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す人材養成において、ひとつの規範とすべき存在として位置づけられます。経済活動等の急速なグローバル化が進行し、人、物、情報が瞬く間に世界を駆け巡る現代においてこそ、下記に示す「**新渡戸稲造の精神**」が重要性を増しつつあります。政治・経済や外交だけではなく、幅広い分野にわたって、高い精神性と多文化理解、コミュニケーション力を身につけた人間を育成することが、総合大学としての本学の使命と考えています。

北海道大学は「新渡戸稲造の精神」を21世紀的課題と捉えてその具現化を目指し、2013年4月、学部・学科の枠を超えた新たな学士課程プログラム「**新渡戸カレッジ**」を設立しました。

新渡戸稲造の精神

- (1) 各国・各地域間の架け橋となるべき「**国際的精神の涵養**」
- (2) 深い専門性の探究に加えて「**幅広い一般的教養の修得**」
- (3) 社会的リーダーにともなう義務「**ノブレス・オブリージュの遂行**」

(出典：『帰雁の蘆』 『内観外望』 『武士道』)

1-3. 新渡戸カレッジ 入校の方針（アドミッションポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの学びを通して、グローバルリーダーを育成します。そのため、新渡戸稲造から学ぶ精神を理解するとともに、新渡戸カレッジで学修する意欲にあふれ、またその教育を受けるにふさわしい外国語能力を有する学生を受入れます。

1-4. 新渡戸カレッジ 教育実施の方針（カリキュラムポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶべき精神に基づきつつ、各々の学問分野における専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムでの学びや国際交流の場などを通して、以下に記す力を身につけ、それらを発揮できるグローバルリーダーを育成します。

- **自己成長力**（自律的な個人の確立に向けて、継続的に精励する力）
- **コミュニケーション力**（外国語運用能力を含む、高いコミュニケーション力）
- **多文化理解力**（文化的背景の異なる他者の考えを理解し、尊重する力）
- **課題解決力**（さまざまな課題に対して、周囲との協働により解決を図る力）
- **社会的倫理観**（社会的役割を認識し、責任感・倫理観をもって行動する力）

1-5. 新渡戸カレッジ 修了認定・称号授与の方針（ディプロマポリシー）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得しながら、分野横断的な教育プログラムでの学びや国際交流の場などを通して、5つの力を身につけることを目標とします。その5つの力、すなわち自己成長力、コミュニケーション力、多文化理解力、課題解決力、社会的倫理観を有すると認められる者に修了を認定し、称号等を授与します。

2. 令和6年度からの新渡戸カレッジについて

令和6年度から新渡戸カレッジは、基礎プログラムを廃止し、オナーズプログラムのみとなり、学部教育コースが学部カリキュラムになりました。入校要件、入校時期(1年次2学期)、修了要件等が変更になりますが、**現在、新渡戸カレッジオナーズプログラム（以下「オナーズプログラム」という。）に在籍している学生及び令和6年3月に基礎プログラムを修了し、引き続き令和6年4月にオナーズプログラムへ入校する学生については、学部教育コース（旧課程）に在籍することになります。修了要件はこれまでと同様です。**

3. 新渡戸カレッジオナーズプログラムの構成

新渡戸カレッジオナーズプログラムは、学部カリキュラム（学部教育コースを含む。）と大学院カリキュラムの2つから構成されます。学部カリキュラムは、本学の学部学士課程に在籍する学生を対象とし、大学院カリキュラムは、本学大学院修士課程あるいは専門職学位課程に在籍する学生を対象とします。

新渡戸カレッジには、チューター制度（Ⅲ 2-1 **チューター制度の意義について**（p.24））など、両カリキュラムの学生がともに学び、交流するしくみが設けられています。

4. オナーズプログラム学部教育コースの構成

オナーズプログラムに入校した学生は、本学の学士課程教育（全学教育および各学部における専門教育）に加えて、特別教育プログラムとして実施される新渡戸カレッジ独自のカリキュラムにそって教育を受けます。

オナーズプログラム入校後は、新渡戸カレッジ生として、特別教育プログラム独自の授業科目等を履修します。また、毎年度、在籍確認が行われます。その上で、オナーズプログラムでの学びを通して、必要な要件を充たしたカレッジ生に対して、修了を認定し、称号を授与します。

なお、新渡戸カレッジにおいて学ぶ授業科目については、（Ⅱ 1 **履修における注意点**（p.8））を参照ください。

4-1. オナーズプログラム学部教育コースで学ぶこと

オナーズプログラム学部教育コースでは、基礎プログラムの学習における意識転換やさまざまなスキルの修得をさらに発展させるとともに、その後、卒業までの期間において、海外への留学や発展的な学習、

自発的な活動への積極的参加によって、新渡戸カレッジの教育目標である5つの力（自己成長力、コミュニケーション力、多文化理解力、課題解決力、社会的倫理観）を身につけ、それらを発揮できるグローバルリーダーとなることを目指します（I-1-4 **新渡戸カレッジの教育実施の方針**（p.2））。

4-2. オナーズプログラムへの入校時期について

オナーズプログラム学部教育コースへの入校は、基礎プログラム修了後、引き続き2年次又は3年次の1学期からに限られています。（令和6年度で終了。令和6年度から新生は、オナーズプログラム学部カリキュラムへ入校。）

5. オナーズプログラムへの入校から修了まで

基礎プログラムを修了した学生は、課題レポートを作成のうえ、オナーズプログラムへの入校申請を行い、審査の結果、合格が認められたら、新渡戸カレッジ生となります。

オナーズプログラムは、入校後、学部の卒業時まで続きますが、毎年度の在籍確認が必要です。

卒業時、すべての要件（5-3 **オナーズプログラムの修了要件について**（p.5））を充たすことにより、オナーズプログラムの修了が認められ、「称号」が授与されます。

5-1. オナーズプログラムへの入校申請について

基礎プログラムを修了し、オナーズプログラムへの入校を希望する学生は、3月初め頃の受付期間内に課題レポートの提出を含む入校申請をしてください。次の2つを満たした場合に入校を認めます。

- ・ 基礎プログラムを修了していること
- ・ 審査基準に達する内容の課題レポートを提出していること

合格者は、高等教育推進機構1F新渡戸カレッジ⑥番窓口前の新渡戸カレッジ掲示板に掲示します。

5-2. 毎年度の在籍確認について

オナーズプログラムへの入校後、翌年度以降も新渡戸カレッジ生として在籍するためには、4年制の学部の場合は2～3年次、6年制の場合は2～5年次まで毎年度、定められた期間内に次の1)と2)の両方を提出する必要があります。

1) 「振り返りレポート」

新渡戸カレッジ生として、1年間の学びと活動を振り返ってレポートを作成し、期間内（2025年12月16日（火）～2026年1月16日（金））に提出してください。

2) 英語テストのスコア

年度内に下記（対象となる英語試験受験の機会）の1)または2)の英語テストを受験し、期間内（2025年12月16日（火）～2026年1月16日（金））に提出してください。

注1) 上記1)及び2)の提出期間内に留学中の場合は、提出期間内に振り返りレポートを提出してください。

なお、英語テストのスコアは、帰国後速やかに下記2)の英語試験を受験のうえ、提出してください。

注2) 最終学年在籍者で留年となる場合は、振り返りレポート及び英語テストのスコアを提出してください。

注3) 休学中は、原則、振り返りレポート及び英語テストのスコアの提出は必要ありません。

注4) 詳細はメール（nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp）または、⑥番窓口にお尋ねください。

対象となる英語試験受験の機会

1) 新渡戸カレッジ主催による TOEFL-ITP 受験の機会

- 新渡戸カレッジが受験料を負担するため、新渡戸カレッジ生は無料で受験できます。
- 札幌キャンパスでは年1回(12月)に実施します(函館キャンパスは別の日)。
- 実施日が決まった時点で統合情報プラットフォーム(Unire)で通知します(函館キャンパスでは学内掲示も行います)。

注) Unire (ユニーレ) : 令和7年4月から導入の統合情報プラットフォーム(学生向けサービス)

2) 新渡戸カレッジ主催以外での英語試験の機会

- TOEFL-ITP、TOEFL-iBT、IELTS、TOEIC などの英語テストを受けても構いません。
- 受験料は自己負担となります。

5-3. オナーズプログラムの修了要件について

次の2つの要件を充たすことでオナーズプログラムの修了が認められます。

- 1) 所属学部において卒業の認定を受けること
- 2) オナーズプログラム新渡戸カリキュラム(II 1 履修における注意点(p. 8-9))に沿って計6単位以上の科目を修得すること

5-4. 修了者への称号授与について

通算 GPA (Grade Point Average) が、所属する学部など(学科、課程、ほか履修上の区分)の最終年次在学者の上位 50%以内であり、かつ、TOEFL-iBT 80 点(あるいはそれに相当)以上の英語力を有する修了生には、5-5の基準に応じて「Summa cum Laude」(with highest honor)、「Magna cum Laude」(with great honor)、「Cum Laude」(with honor)のいずれかが授与され、それ以外の修了生には「Associate」が授与されます。

5-5. 称号授与の基準

通算 GPA の確認方法(学部別)

文学部 法学部 経済学部 理学部(物理学科以外) 工学部 農学部 水産学部	学部、学科、課程、学部規程に定める履修上の区分(分野・コース)における通算 GPA 順位のうち、最も上位にあるもので判定する
教育学部 歯学部	学部の通算 GPA の順位で判定する
理学部物理学科	学部専門科目の通算 GPA の順位で判定する
医学部医学科 医学部保健学科 薬学部薬科学科 薬学部薬学科	学科の通算 GPA の順位で判定する
獣医学部	全科目の通算 GPA と学部専門科目の通算 GPA のいずれか順位の高い方で判定する

TOEFL-iBT の換算スコア（称号授与のため）

TOEFL-iBT	TOEFL-ITP	IELTS	TOEIC・TOEIC-IP*
80	550	6.5	730
90	577	6.5	805
100	600	7.0	875

* 北大以外の会場で受験した TOEIC-IP のスコアは換算の対象にならないので注意してください。

5-6. オナーズプログラムの退校について

オナーズプログラムを退校になる場合として次の2つがあります。

- 所定の期間内に在籍確認（5-2 **毎年度の在籍確認について**（p.4））を行わなかった場合。
- 学生から退校を申し出た場合（メール〈nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp〉にて、所属学部等、学生番号、氏名、退校希望年月日、退校理由をお知らせください。）

なお、退校後の再入校は認めません。

II. 新渡戸カリキュラムについて

1. 履修における注意点

新渡戸カレッジ生は、所属の学部・学科の学習に加えて、「新渡戸カリキュラム授業科目一覧」表に示す新渡戸カリキュラムの科目を履修します。新渡戸カリキュラムは所属学部・学科を問わず、すべての新渡戸カレッジ生に適用されます。

新渡戸カリキュラムを履修する上で、以下の点に注意してください。

- 新渡戸カリキュラムの科目には、所属学部の進級・卒業単位に含まれるものと含まれないもの（新渡戸カレッジ独自の科目など）があります。
- 必修科目を必ず履修し、単位を修得してください。
- 選択科目については、所属学部の実行教育課程を考慮の上、修了に必要な単位数分以上を履修し、単位を修得してください。
- オナーズプログラム修了までに履修が必要な選択科目のなかには、基礎プログラム在籍時から履修が可能なものがあります（オナーズプログラム入学後、同プログラムを修了するのに必要な修得単位数に算入されます）。

オナーズプログラムを修了するには、海外留学（1あるいは2単位）および選択科目（5単位以上）の履修（5-3 オナーズプログラムの修了要件（p. 5））が必要です。

- 基礎プログラムで在籍時に修得したオナーズプログラムの選択科目の単位は、オナーズプログラムの単位として認められます。

ただし、海外留学（p. 17）、新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）（p. 15）はオナーズプログラム生のみ対象です。

- オナーズプログラム生の希望者が、グローバル基礎科目と新渡戸学（新渡戸カレッジ独自科目）におけるチューターとして学生をサポートするしくみがあります（Ⅲ 2-2 チューターの募集について（p. 24））。

履修についての質問・相談は、新渡戸カレッジ担当（高等教育推進機構⑥番窓口）で受け付けます。

新渡戸カリキュラム科目一覧

科目名	単位数	基礎		オナーズ 修了	対象 基礎プログラム生 オナーズ生 両方	備考
		正式 入校	修了			
㊦グローバル基礎科目 (国際理解と海外留学)	1	●			基礎 (前期)	正式入校のために2単位以上の修得が必要
㊦グローバル基礎科目 (リーダーシップとチームワーク)	1	●			基礎 (前期)	
㊦新渡戸学 (フェローゼミ)	1		◎		基礎 (後期)	基礎プログラム修了のために3単位以上の修得が必要
㊦留学支援英語	2		◎	□	両方	
㊦海外短期語学研修	2			□	両方	これら5科目と「留学支援英語」の中からオナーズ修了までに3単位以上の修得が必要
㊦国際交流科目	1or2			□	両方	
㊦日本文化・社会に関する理解増進科目	1or2			□	両方	
㊦専門横断科目	1or2			□	両方 (2年～)	
㊦英語による学部専門科目	1or2			□	両方 (2年～)	
㊦新渡戸学 (セルフキャリア発展ゼミ)	1			□	オナーズ	
㊦インターンシップ (国内)	1or2			□	両方	これら7科目の中からオナーズ修了までに2単位以上の修得が必要
㊦フィールド型演習	2			□	両方	
㊦多文化交流科目	2			□	両方	
㊦大学と社会	1			□	両方	
㊦グローバル・キャリア・デザイン	2			□	両方	
㊦海外留学	1or2			■	オナーズ	オナーズ修了までに1単位以上の修得が必要

基礎 正式入校●...正式入校に関わる必修科目

修了◎...基礎プログラム修了に関わる必修科目……合計5単位以上の修得が必要

オナーズ 修了■...オナーズプログラム修了に関わる必修科目

修了□...オナーズプログラム修了に関わる選択科目……合計6単位以上の修得が必要

㊦全学教育科目 ㊦国際教育科目 ㊦専門教育科目 ㊦カレッジ独自科目

2. 新渡戸カリキュラムの授業科目

オナーズプログラム学部教育コースの授業科目について説明します。

2-1. 留学支援英語（全学教育科目：英語演習（上級））

留学支援英語Ⅰ～Ⅲは、全学教育科目の英語演習（上級）としても単位が認定されます。

英語演習（上級）は、英語を母語とする講師の指導のもと、1 クラス 20 人以下の少人数クラスで実践英語を学ぶ授業です。英語によるコミュニケーション能力の向上、留学時に必要なアカデミックスキルの修得を目指して、レベル別の授業を開講します。教員による会話とライティング、プレゼンテーションを中心とした実践的な英語の授業を行います。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	月 1	学外講師	20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	月 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	火 2		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	火 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	水 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	水 4		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1)	木 2		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2025 (1)	金 1		20
	上級：留学支援英語Ⅲ 2025 (1)	金 2		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (1 集中)	集中		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2025 (1 集中)	集中		20

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	月 2	学外講師	20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	月 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	火 2		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	火 3		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	火 4		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2)	水 4		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2025 (2)	月 4		20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2025 (2)	木 2		20
	上級：留学支援英語Ⅲ 2025 (2)	水 5		20
	上級：留学支援英語Ⅰ 2025 (2 集中)	集中		20
	上級：留学支援英語Ⅲ 2025 (2 集中)	集中		20

夏季集中講義

単位	講義題目	期間（予定）	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語Ⅰ 2025（1 集中）	8/4（月）～8/8（金）	学外講師	20
	上級：留学支援英語Ⅱ 2025（1 集中）	8/18（月）～8/22（金）		20

春季集中講義

単位	講義題目	期間（予定）	担当教員	定員
2	上級：留学支援英語Ⅰ 2025（2 集中）	2/5（木）～2/12（木）	学外講師	20
	上級：留学支援英語Ⅲ 2025（2 集中）	2/13（金）～2/19（木）		20

※ 集中講義は、2～4講時に開校予定。土日祝日を除く。

※ 春季集中講義の単位は、単位認定上、次年度に修得した形となりますので、留意してください。卒業年次の春季集中講義は履修できません。

注意事項

自分の英語力（TOEFL スコア）に合ったレベルのクラスを選択してください。

留学支援英語クラス	英語力（TOEFL-iBT）	英語力（TOEFL-ITP）
I	61～70	500～526
II	71～78	527～549
III	79以上	550以上

※ 定員を超えた履修希望者がいた場合は新渡戸カレッジ生を優先します。

「留学支援英語」以外の英語力を磨く機会

学内には、留学支援英語のほかにも、以下のとおり、英語力の向上につながる取組みがあります。いずれも新渡戸カレッジの学部カリキュラムの選択・必修科目ではありませんが、自主的に英語力を高める機会として積極的に利用してください。

1) 英語演習上級・英語資格試験対策講座

全学教育科目の英語演習として開講される科目です。

英語資格試験（IELTS）の全体および各技能（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）のスコアの向上に必要なスキルを学び、実践での活用をはかります。

2) 英語演習中級・キャンパス英語

英語による効果的なコミュニケーション能力を向上させるために、トピックベースで総合的なスキルを伸ばすことを目標としています。トピックは、実生活に関連したものなので、楽しく興味をもってモチベーションを保ちながら学ぶことができます。

3) 学部での独自の取り組み

上記以外に、英語力向上に向けて独自の取り組みを行う学部があるので、自分の所属する（あるいは所属予定の）学部の掲示板等を確認してください。

2-2. フィールド型演習（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））

フィールド型演習は、テーマごとに少人数クラス（20 名程度）に分かれて行う体験型演習です。履修を通して、チームワークの重要性を認識し、リーダーシップやリスクマネジメントを体験する機会が得られます。学部カリキュラムに加え、全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）としても単位が認定されます。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員
2	企業がかかえる課題をみんなで解決しよう!!	集中	金子 純一
	プログラミング構築手法を学び、論理的思考を習得しよう	集中	金子 純一
	デザイン思考、ハッカソンを用いたプロジェクト学習を通じ、DX・イノベティブな取り組みを学ぼう	集中	金子 純一
	HBA連携講義 オリジナルノベルティ制作の実践で学ぶ商品開発とマーケティング	集中	金子 純一
	北海道のフィールドで協同組合を学ぶ	集中	小林 国之
	海のフィールドに出よう 1	集中	中屋 光裕
	海のフィールドに出よう 2	集中	中屋 光裕
	海のフィールドで試す 1	集中	中屋 光裕
	海のフィールドで試す 2	集中	中屋 光裕
	北海道の自然と人	集中	早川 裕一
	海と湖と火山と森林の自然	集中	長里 千香子
	南紀熊野の自然と人々の暮らし・夏編	集中	岸田 治
	フィールド体験型プログラム-人間と環境科学-（1）	集中	倉田 正観
	牧場の暮らしと自然・夏季編	集中	河合 正人
	北海道東部の水域生態系	集中	仲岡 雅裕
	森里海連環学 北大・京大合同演習	集中	仲岡 雅裕
	北海道北部の森と人々の暮らし2025夏	集中	高木 健太郎
International Archaeological Field School in Rebus Island	集中	加藤 博文	

注) 定員は、高等教育推進機構 1 階の掲示板で確認してください。

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員
2	多様な価値観とライフデザイン	集中	玉腰 暁子
	ビジネスゲームで学ぶ会社経営の基礎	集中	金子 純一
	企業がかかえる課題をみんなで解決しよう!!	集中	金子 純一
	グローバル・キャリア・デザイン	集中	川端 千鶴
	北大発! これからの国土-地域デザイン~厳寒の森と湖の里で~	集中	中路 達郎
	南紀熊野の自然と人々の暮らし・初春編	集中	岸田 治
	南紀熊野の里山と林業	集中	岸田 治
	フィールド体験型プログラム-人間と環境科学-（2）	集中	倉田 正観
	牧場の暮らしと自然・冬季編	集中	河合 正人
	身近な食べ物づくり演習	集中	星野 洋一郎

注) 定員は、高等教育推進機構 1 階の掲示板で確認してください。

2-3. 多文化交流科目（全学教育科目：一般教育演習（フレッシュマンセミナー））

多文化交流科目は、多文化状況に関する知識・理解を促進し、外国人留学生と日本人学生との協働学習により、多様な背景の人々とともに課題を解決する技法の教育を目的とします。学部カリキュラムに加え、全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）としても単位が認定されます。

1 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	日本における哲学と宗教	月3	山畑 倫志	10
	札幌をフィールドワークする	月4	青木 麻衣子	15
	世界の7000の言語と日本語	火3	平田 未季	12
	北大発の多文化共生にかかわろうー外国人とのコミュニケーションを通じて	水2	杜 長俊	16
	日本語のコミュニケーションスタイル	水4	鄭 恵先	10
	考え方の技術	木5	小林 由子	12
	「国際交流」を考える	金2	青木 麻衣子	10
	日本語で育つ子どもたち	金4	式部 絢子	10
	多文化共生入門ゼミ	金5	式部 絢子	10

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員	定員
2	札幌をフィールドワークする	月4	青木 麻衣子	15
	北海道で暮らす多様な人々の人生を知り、演じる	火3	近藤 弘	10
	北海道大学を発見しよう	火3	奥本 素子	10
	学校生活についての多文化理解と協働探究	火5	杜 長俊	16
	実践！お寺がつなぐ異世代の生活：澄川・藻岩でまちづくり	水3	山畑 倫志	10
	日本語のコミュニケーションスタイル	水4	鄭 恵先	10
	考え方の技術	木5	小林 由子	12
	アジアの学生と日本語で世界の課題を話し合おうーオンライン協働学習ー	木5	鄭 恵先	10
	「国際交流」を考える	金2	青木 麻衣子	10
	日本語で育つ子どもたち	金4	式部 絢子	10
	多文化共生入門ゼミ	金5	式部 絢子	10

2-4. 海外短期語学研修（サマープログラム、スプリングプログラム）

海外短期語学研修は、外国語コミュニケーション能力を高め、多文化理解能力を養い、国際的に活躍できる人間を育成することを目的とした、外国語圏の教育機関における2週間以上の短期語学研修です。

全学教育科目の外国語演習（講義題目：海外短期語学研修）の一部として位置づけられており、サマープログラム、スプリングプログラムとして、海外に渡航する期間が数週間程度の語学学習および多文化体験を中心としたプログラムとなっています。

本プログラムを外国語演習として履修した場合、学部カリキュラムの授業科目「海外短期語学研修」の単位を認めます（詳細は「北大生のための留学ハンドブック」及び「北大生のための留学ガイド <https://be-global.oia.hokudai.ac.jp/>」を参照）。

2-5. 国際交流科目

外国人留学生と日本人学生が交流を深め、さまざまな考え方や価値観のあることを認識し、互いに啓発しあうことを目的とし、原則として英語で行われる授業です。

学際的・先端的なテーマとした授業が入門レベルから専門レベルまで開講されます（開講一覧は巻末別

表 (p. 38～) を参照)。

全学教育科目 (英語演習)、全学教育科目 (英語演習以外)、学部専門科目及び大学院専門科目と合同開講されるものがあるため、国際交流科目としての履修登録がない場合、新渡戸カレッジの修了要件を充たすことにはならないので注意してください (詳細については、国際交流科目のシラバスを参照)。

2-6. 日本文化・社会に関する理解増進科目

英語で開講される日本文化に関する科目 (開講一覧は巻末別表 (p. 38～) を参照) で、すべて国際交流科目と合同開講されます。

一部の科目は、全学教育科目と合同開講されるものもあるため、国際交流科目として履修登録しない場合、新渡戸カレッジの修了要件を満たすことにはならないので注意してください。

2-7. 大学と社会 (全学教育科目：総合科目 (特別講義))

毎回の授業では、新渡戸カレッジのフェローやメンター (Ⅲ 1 **フェロー・メンター制度** (p. 24)) など、産業界、行政、マスコミ等のさまざまな分野で活躍する本学の同窓生が講演を行います。

講師は「現在あるいは将来の職業人としてどのような資質が求められるか」「そのために大学でどのように学ぶことが必要か」「北海道大学や学生に期待することは何か」等のテーマについて、学生時代や職業人としての活動を振り返りながら講演します。講演を聴いて、履修者自身が社会とどのように関わっていくかを考えることが本授業の目的です。

学部カリキュラムに加え、全学教育科目の総合科目「特別講義」としても単位が認定されます。

2 学期

単位	講義題目	曜日・講時	担当教員
1	大学と社会-先輩からの熱いメッセージ-秋 (秋ターム)	火 5	亀野 淳
1	大学と社会-先輩からの熱いメッセージ-冬 (冬ターム)	火 5	亀野 淳

※ 秋タームと冬ターム (4 学期制) それぞれで異なる内容で行います。

2-8. グローバル・キャリア・デザイン

グローバル・キャリア・デザインは、海外協定校等、教育機関での授業受講体験・学生交流に加えて、グローバルに事業を展開する企業や国際機関等の海外拠点にて活躍する社会人や同窓生が講話を行い、その講師と対話することを約 2 週間で体験する授業です。本授業の履修を通して、学生がグローバルなキャリアについての視野を広げ、将来的にグローバルにもローカルにも活躍するような“グローカル”な人材として育てていくことを目指します。

学部カリキュラムの授業科目「グローバル・キャリア・デザイン」の単位に加え、全学教育科目の一般教育演習 (フレッシュマンセミナー) の単位が認定されます。

2-9. 新渡戸学 (フェローゼミ) ※基礎プログラムの科目のため、参考情報として掲載

「新渡戸学」とは、新渡戸稲造の精神に基づきつつ、グローバルリーダーに求められるスキルを身につけ、将来のキャリアを考えることを目的として、新渡戸カレッジが独自に開講する授業科目の総称です。

新渡戸学としては「フェローゼミ」「セルフキャリア発展ゼミ」の 2 科目が開講されます。

そのうち、「フェローゼミ」は、オナーズプログラム入校後、最初に取り組むべき必修科目で、少人数の

演習形式で行われる授業です。

※フェローゼミは、1年次に単位を修得してください。

1年次第2学期

単位	講義題目	開講日時	担当教員
1*1	新渡戸学（フェローゼミ）	集中*2、3、4	畑中貴美・川谷維摩ほか

*1. 合否による評価です。

*2. 2025年10月～12月の間（主に土曜日）に集中講義型で開講されます。

*3. 初回の授業には、特別な理由がない限り必ず出席してください。

*4. 日程は年間予定表（p. 36～37）で確認してください。

目的

世界が抱えている諸問題について、実際に現地を視察して学ぶとともに、グループワークを通して、学問と社会のあり方や持続可能な社会のあり方を考え、同時にリーダーシップやチームワーク力を身につける。

目標

- 新渡戸カレッジの目標であるリーダーシップをゼミ活動の中で積極的に発揮することができる。
- 自分で考え、意見を出し、ともに議論し、明確な結論を導くことができる。
- ゼミにおける現地での学びを関連分野の知見と結び付けて説明することができる。
- ゼミのテーマのもと、持続可能な社会の実現に向けて自らの考えを表現することができる。

内容

ゼミ担当フェローの他、支援教員、テーマに関連する関係者が協力し、2025年度は6テーマで実施します。履修者はテーマに関する課題について、現地視察での学びや関連分野の知見をもとにグループで議論し、解決策を検討します。ゼミの成果発表の場である「公開シンポジウム成果報告会」では、すべてのゼミが一堂に会して、これまでのゼミの取り組みについて発表のうえ、質疑応答を行います。

備考

- 1年次生を対象とした授業科目です（現代日本学プログラム課程学生は2年次生を対象とします）。
- 8月に統合情報プラットフォーム（Unire）（p.5）にて募集を通知します。
- 履修者は複数のテーマの中から興味のあるものを選択してください（履修希望者が集中した場合は抽選を行います）。
- 新渡戸カレッジ2年目以上の上級生等（チューター）がゼミを支援します。

2-10. 新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）

オーナーズプログラム学部カリキュラムの学生を対象とした選択科目で、合宿を含む演習形式の新渡戸カレッジ独自科目です。

1学期

単位	講義題目	開講日時	担当教員
1*1	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	集中*2、	肖蘭・川谷維摩ほか

- *1. 合否による評価です。
- *2. 2025年5～7月に開講し、合宿を含む集中講義型で実施されます。

目的

セルフキャリア発展ゼミは、合宿を含む継続的なセミナーであり、日常とは異なる空間での自己の洞察、仲間（新渡戸カレッジ生とフェロー）とのコミュニケーション、アクティブ・ラーニングを通して、自らの未来を構築していくための力を養うことを目的とします。

目標

- 学生が社会の現状を認識し、社会との関連のなかで自分自身の可能性を認識し、自らの未来を構築していく力を身につける。
- 学生が自ら目標を設定し、実現に向けたプロセスを考え、実行する。また、教員とフェローの助言を受けながら確認し、継続的に取り組む。
- 新渡戸コミュニティにおける教員、フェロー及び学生同士のコミュニケーションから、学生が自分の目標の実現に向けて取り組む際の手がかりを得る。
- 持続的な取り組みを通して、将来、社会や組織のリーダーに成長するための基本的な考え方とスキルを習得する。

内容

履修者は、ゼミの担当教員、担当フェローとともに合宿およびグループディスカッションに参加し、そこから得た気づきに基づき、自らの未来を考え、その実現に向けてプランを立てます。担当教員とフェローが学生の自律的な学びと成長を支援するための助言を行います。

備考

- 2年次以上の新渡戸カレッジオナーズプログラム生を対象とした授業科目です。
- 4月に統合情報プラットフォーム（Unire）（p.5）にて募集を通知します。
- 履修者 30 名程度・希望者多数の場合は先着順により決定します。
- 9月と12月にフォローアップセッションを行う予定です。（希望者のみ）。

2-11. 専門横断科目

より多様で幅広い教養を獲得すること、学際的な教養を獲得すること、専門性を追究する上で必要とされる新たな知識や手法を身につけることを目的とする授業科目です。

複数学部を学生を対象として共通の教育内容で開講されます。2年次以上の新渡戸カレッジ生を対象とした授業科目です。

当該授業科目として、実践英語（上級）、Hokkaido サマー・インスティテュート（以下「HSI」という。）、留学とキャリアデザインなどがあります。（開講一覧は巻末別表（p. 38～）を参照）

2-12. 英語による学部専門科目

各学部において開講され、英語で行われる専門科目の授業です。国際交流科目と合同開講される場合は、学部専門科目として履修してください。2年次より履修可能です。（開講一覧は巻末別表（p. 38～）を参照）

2-13. インターンシップ（国内）

自分の専門分野や将来のキャリアに関連する企業、行政機関、各種団体等における1～2週間程度の就業体験を通して、実社会と接触し、学習意欲の向上や高い職業意識の育成をはかることを目的とします。

全学教育科目の共通科目としても単位が認定されます。

詳細は年度初めの履修説明会において説明されるため、履修希望者は必ず出席してください（説明会の日時・場所は高等教育推進機構、キャリアセンター等で確認してください。）。

2-14. 海外留学

北海道大学では、各学部等の状況に応じて、海外留学の意義と効果を考慮しつつ、タイプ別に多様な海外留学プログラムを用意しています。

海外留学の目的

海外留学の目的は、北海道大学の「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という4つの基本理念と新渡戸稲造の精神に基づき、海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立と、論理的な思考力と高度な専門能力を身につけることにあります。

北海道大学の海外留学のポリシー

海外留学は、学生が自律的に学び、研究する上での手段といえます。学生ひとりひとりが、国際的な視野を広げつつ、何を学び、何を研究するかを考え、海外留学の目標と計画を設定した上で、渡航することが求められます。

海外留学の種類

新渡戸カレッジにおける「海外留学」は、以下の表のとおり、本学が開講する（A）交換留学プログラム（2単位）、（B）短期留学プログラム（1単位）の2つのプログラムが中心になりますが、それ以外に（C）新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目（2単位以上）、（D）その他（1単位）によって単位を修得した場合も、新渡戸カレッジ「海外留学」の単位として認定されます。

(A) 交換留学プログラム	2単位	①大学間交流協定大学への留学
		②部局間交流協定大学への留学
(B) 短期留学プログラム	1単位	①学部専門レベル短期留学
		②国際インターンシップ
(C) 新渡戸カレッジが指定する オンライン共修科目	1単位以上	
(D) その他	1単位	

(A) 交換留学プログラム

交換留学とは、北海道大学の交流協定大学に1セメスターあるいは1年未満留学する制度です。交流協定大学は「大学間協定大学」と「部局間協定大学」の2種類に分かれます。

①大学間交流協定大学への留学

「大学間協定大学」へは、北海道大学に所属する正規学生（学部生・大学院生）であれば所属にかかわらず留学できます。

②部局間協定大学への留学

「部局間協定大学」への留学は、各部局間で協定を締結している学部・大学院の在籍学生に限られます（部局間協定大学への留学の詳細は、各学部担当に確認してください）。

北海道大学は、海外の約 50 カ国の地域、250 以上の大学等と学生交流協定を結んでおり、「授業料不徴収」の取り決めを行っています。授業料不徴収とは、北海道大学に留学期間中の授業料を納めれば、留学先の大学に授業料を払わなくてすむという制度です。

交換留学による留学であれば、留学先の大学で専門科目を履修することができ、留学先で取得した単位は、所属部局が認める範囲内で認定されます。

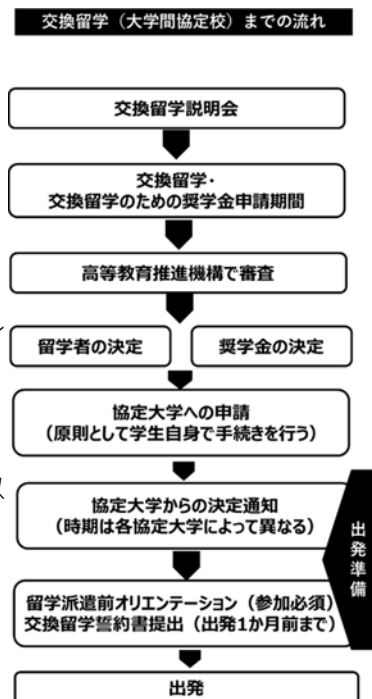
交換留学プログラムを新渡戸カリキュラム「海外留学」として単位認定するには、派遣先の大学で修得した単位が学修内容を報告の上、本学で単位認定あるいは単位互換されることが条件となります。

交換留学の詳細は、「北大生のための留学ハンドブック」及び「北大生のための留学ガイド <https://be-global.oia.hokudai.ac.jp/>」を参照してください。

(B) 短期留学プログラム

短期留学とは、数週間（基本的に 1 科目相当（15 コマ、45 時間以上）の学習内容とする）、テーマ別に海外の協定大学等で学ぶプログラムです。ただし、卒業年次生は、最終学期に短期留学プログラム「海外留学」を履修しても、システム上、単位が認定されません。

短期留学プログラムには、①学部専門レベル短期留学（以下、「学部短期」）、②国際インターンシップの 2 種類があります。



① 学部専門レベル短期留学（学部短期）

学部等が独自に開発した短期留学プログラムで、単位認定を学部側で行います。新渡戸カレッジ海外留学の単位（1 単位）が認められるには、「学部専門科目」として履修の上、単位を認定される必要があります。

学部専門レベル短期留学プログラムの2024年の例（海外ラーニング・サテライト事業を含む）

教育学部	教育学部海外短期セミナー
法学部	日本・台湾の法学系学生交流プログラム
医学部医学科	シンガポール国立大学・北海道大学医学部医学科学生交流学生派遣ほか
歯学部	フロンティア発展科目
工学部	日本財団海洋開発サマースクール、CEED海外インターンシップほか
農学部	新グローバル化時代における地域文化・産業としての農業ほか
獣医学部	国際獣医師人材を育成する獣医学教育世界展開プログラム
水産学部	海外ラーニングサテライト事業、日本財団海洋開発サマースクール

* 上記の中には終了したものが含まれている可能性があります。また、上記以外に実施しているものもあるので、参加可能なプログラムについて所属学部にお問い合わせください。

② 国際インターンシップ

国際インターンシップは、2 週間から 6 週間の間で海外就業を体験する授業です。教職員は同行せず学生のみでの渡航であり、問題解決能力や自己管理能力を育む機会にもなっています。就職直結型のインターンシップではなく、学生の総合的な人間力を培う実践的キャリア教育として、学生が自らの専門分野や進路に関連した企業、或いは全く異なる分野での実地研修を通し、国際性とリーダーシップ力を醸成するとともに、グローバルな視点で自らのキャリアや今後の進路について考えることを目的としています。

学部2年生以上（原則最終年次の学生を除く）の学生及び大学院生（留学生含む）が対象です。国際インターンシップを修了すると全学教育科目「インターンシップA」または「インターンシップB」の単位が認定されるほか、新渡戸カレッジの「海外留学」（1単位）が認められます。参加を希望する場合は、説明会に必ず出席してください。

（C）新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目

新渡戸カレッジでは、海外留学担当教員が、原則、開講の前年度中に、必要な要件を充たしたオンライン授業のうち、新渡戸カレッジの「海外留学」科目として適当と判断されるものを新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目として決定の上、提示します。この授業を履修して、実施大学から成績評価を受けて合格し、かつ学生から認定希望があった場合、新渡戸カレッジの「海外留学」として認定します。

○参考：指定対象要件

指定対象となる授業科目は、外国語によるオンライン共修授業（国内学生と海外学生が協働しながら学ぶPBL型授業*）であることを前提とします。

※ここでいうPBL型授業とは、Project-based learningあるいはProblem-based learningです。

○留意事項

- 1) 2025年度の指定科目は、後日 統合情報プラットフォーム（Unire）（p.5）にてお知らせします。
- 2) 新渡戸カレッジが指定するオンライン共修科目は、新渡戸カレッジ奨学金の対象になりません。

（D）その他

新渡戸カレッジでは、学外で募集あるいは実施される海外留学・研修についても、学生からの申請を受け付けます。そのうち、以下の要件を充たし、かつ審査の上、適当と認められるものについては、新渡戸カレッジ「海外留学」（1単位）として認定します。

○新渡戸カレッジ「海外留学」として認定されるための要件

- 以下の（1）～（4）のいずれかの要件を充たせば、新渡戸カレッジ「海外留学」として認定します。
- （1）本学の協定校等において、学部専門レベルで2単位相当以上の授業を外国語で履修し、単位認定されるもの（ただし、海外語学研修を除く。）。
 - （2）海外の高等教育機関、国際機関、企業等において、実働10日以上、外国語環境でのインターンシップを行い、研修先から評価を得られるもの（所定の評価シートを利用）。
 - （3）学外の競争的資金・奨学金等を得て行く海外留学で、外国語環境で実働・実研修10日以上を行うものであり、奨学金等支給先から修了証明が出るもの。
 - （4）その他、本学では単位認定されてはいるが、プログラム内容が、新渡戸カレッジ「海外留学」に相当するもの。

○新渡戸カレッジ「海外留学」として認定される具体的事例

- 協定校のサマースクールへの参加
- 国際機関でのインターンシップ
- 国内の公的機関が募集する海外留学・研修プログラムへの参加
- 民間団体等が応募者の中から選抜して行う海外留学・研修

※これらの例が全て対象となるわけではありませんので、事前に必ず相談してください。

○申請手続き

- （1）申請を検討している場合は、事前に相談すること。（相談先：新渡戸カレッジ海外留学担当教員）
- （2）遅くとも留学の2ヶ月前までに「留学計画書」（所定様式）を提出すること（留学の実施団体によ

る審査があった場合、合格通知が届く前でも申請は可能)。留学計画には、授業や研修内容や研修先との調整状況がわかる資料（授業シラバス、インターンシップ内容、研修先との契約書、通信等）を添付すること。

- (3) 留学後1ヶ月以内に、新渡戸カレッジに報告書（所定様式）を提出すること。
- (4) その他、必要に応じて、新渡戸カレッジが求める書類を提出すること。

○審査・認定

- (1) 上記提出書類により新渡戸カレッジにおいて審査を行います*。
- (2) 留学前および留学後に追加資料の提出を求められることがあります。また、面接を行う場合があります。
- (3) 審査後、新渡戸カレッジから本人に認定の可否が通知されます（1～1.5ヶ月程度）
※新渡戸カレッジの海外留学担当教員を含む複数名の教員により事前審査を行います。

○留意事項

- (1) 新渡戸カレッジが認定する「海外留学」は、新渡戸カレッジ奨学金の対象になりません。
- (2) 危機管理・対応は自己責任で行ってください。
- (3) 帰国後、本学の学生の国際性を高めるため、海外留学についての広報への積極的なご協力をお願いします。

海外留学の奨学金

新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する学生は、参加するプログラムのタイプ（交換留学・短期留学）に合わせて、奨学金が支給されます。

新渡戸カレッジ生が申請できる海外留学の奨学金の例

奨学金の名称	対象者	説明
北海道大学フロンティア基金新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金* ¹ https://www.hokudai.ac.jp/fund/	交換留学あるいは短期留学に参加する新渡戸カレッジオナーズプログラム生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新渡戸カレッジ生の海外留学の促進を図るとともに、国際貢献に寄与する人間を育成することを目的に、北海道大学が給付する奨学金 ・ 通算 GPA、英語能力、留学に関するレポート等による審査の結果、学業成績と人物等が優れていると認められた学生に、より多くの金額を支給する奨学金制度 ・ 交換留学では留学期間中ほぼ毎月（支給月数は JASSO 基準に則る）、短期留学では1回限り支給される。 ・ 詳細については、新渡戸カレッジ担当（学部）高等教育推進機構⑥番窓口で確認してください。
日本学生支援機構 JASSO 奨学金* ²	海外留学支援制度（協定派遣）によって海外の協定大学へ8日以上1年以内の留学を行う本学の正規学生	<ul style="list-style-type: none"> ・ JASSO 支給基準に従い、交換留学について留学期間中ほぼ毎月支給される給付型奨学金。
トビタテ！留学 Japan 日本代表プログラム、学研災グローバル人材育成奨学金ほか	本学の正規学生でプログラムの応募要件を満たす者	北海道大学が、本学の正規学生の応募をとりまとめて大学として申請するもの。

奨学金の名称	対象者	説明
経団連グローバル人材育成 スカラーシップほか	本学の正規学生で プログラムの応募 要件を充たす者	学生個々人が応募するもの。

*1 北大フロンティア基金とは

北海道大学は、海外の卓越した大学に伍すわが国の基幹研究大学としての責任を果たし、世界トップレベルの研究成果を挙げるとともに、国際的な視野と品位ある自律的な個を確立した、地球規模の課題解決にリーダーシップを発揮できる国際的人材を育成するための一環として独自の「北大フロンティア基金」を2006年に創設した。本基金は、広く企業、個人、同窓生および教職員の貴重なご支援とご寄付により運営されている。特に、「新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金」は、グローバル社会で活躍が期待される新渡戸カレッジ生の海外留学などを支援するために設立されたものである。新渡戸カレッジ生は、本基金の趣旨をよく理解し、海外留学での学びに大いに励んで頂きたい。

*2 JASSO 支給基準

派遣期間（日）	支給期間（月）	派遣期間（日）	支給期間（月）
8～31	1	187～217	7
32～62	2	218～248	8
63～93	3	249～279	9
94～124	4	280～310	10
125～155	5	311～341	11
156～186	6	342～365	12

※JASSOのホームページ等で確認すること。

2-15. 新渡戸カレッジ教育実施の方針（カリキュラムポリシー）と各授業科目

新渡戸カレッジでは、教育実施の方針（カリキュラムポリシー）として「5つの力」を掲げ、その育成を目指しています（p2）。「5つの力」とは、次のとおりです。

- ・自己成長力（自律的な個人の確立に向けて、継続的に精励する力）
- ・コミュニケーション力（外国語運用能力を含む、高いコミュニケーション力）
- ・多文化理解力（文化的背景の異なる他者の考えを理解し、尊重する力）
- ・課題解決力（さまざまな課題に対して、周囲との協働により解決を図る力）
- ・社会的倫理観（社会的役割を認識し、責任感・倫理観を持って行動する力）

下記の表は、上記の「5つの力」を修得するために、各授業科目がどのような役割を果たしているのかを示したものです。例えば、「グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）」（1単位）であれば、自己成長力20%、コミュニケーション力20%、多文化理解力30%、課題解決力10%、社会的倫理観20%という割合で、「5つの力」の修得を目指す構成になっています。下記の表のとおり、「5つの力」は1つの科目を履修すれば身につくようなものではありませんので、様々な授業を履修しながら、自分自身で意識的に獲得できるように学修を進めてください。

授業科目名	単位	教育実施の方針（5つの力）					備考
		自己成長力	コミュニケーション力	多文化理解力	課題解決力	社会的倫理観	
グローバル基礎科目（国際理解と海外留学）	1	20	20	30	10	20	
グローバル基礎科目（リーダーシップとチームワーク）	1	20	30	10	30	10	
留学支援英語	2	0	60	40	0	0	
海外短期語学研修	2	10	40	30	10	10	
国際交流科目	1 or 2	10	50	20	10	10	
日本文化・社会に関する理解増進科目	1 or 2	10	40	30	10	10	
専門横断科目	1 or 2	10	50	20	10	10	
英語による学部専門科目	1 or 2	10	40	20	20	10	
新渡戸学（フェローゼミ）	1	20	30	10	30	10	
新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	1	40	20	10	10	20	
インターンシップ（国内）	1 or 2	30	20	10	30	10	
フィールド型演習	2	20	30	10	30	10	
多文化交流科目	2	20	20	20	20	20	
大学と社会	1	30	20	20	10	20	
グローバル・キャリア・デザイン	2	20	30	30	10	10	
海外留学	1 or 2	20	20	30	20	10	

Ⅲ. 学びを充実させるためのしくみ

1. フェロー・メンター制度

新渡戸カレッジでは、国内外のさまざまな分野でリーダーとして活躍する同窓生等が新渡戸カレッジ生のキャリア教育に携わっています。具体的には、学部では、「**新渡戸カレッジフェロー**」として、大学院では「**新渡戸カレッジメンター**」として、授業やプログラムに参画するしくみ（「**フェロー・メンター制度**」）があります。

1-1. フェロー・メンター制度の意義について

フェロー・メンター制度は、新渡戸カレッジ生が同窓生等との出会いを通して、人生の意味や大学で学ぶことの意義を考え、自己省察する機会を得ることを目的として、当初、フェロー制度は学部生を対象とし、メンター制度は大学院生を対象として別々に設けられましたが、このたび、二つの制度を統合し、フェロー・メンター制度として、発展的に継承していくことになりました。

社会経験、人生経験の豊富なフェローやメンターと身近に接することを通して、新渡戸カレッジ生は、視野を広げ、世界の抱えるさまざまな課題に対してアンテナを張り、自分に何ができるかを考え、行動する力を鍛えることができます。新渡戸カレッジ生が人生設計（キャリアデザイン）を行う上で基礎となる力を養うという意味において、フェロー・メンター制度は、さらに大きな役割を果たしていくことが期待されます。

1-2. フェローの担当する授業科目について

フェローが担当する授業科目は、以下のものがあります。

カリキュラム	授業科目	内 容
学部カリキュラム	新渡戸学（フェローゼミ）	少人数演習形式の必修科目（p.14）
	新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）	合宿を伴う演習形式の選択科目（p.15）

2. チューター制度

新渡戸カレッジには、オナーズプログラムで学ぶ2年次以上の学部学生や大学院学生が「**チューター**」として、カレッジの授業やイベント等の支援業務に携わる「**チューター制度**」があります。チューターには、新渡戸カレッジの教員やフェローによる授業の支援、グループ活動のファシリテーターを含め、さまざまな業務に取り組む意欲のある人が求められます。

2-1. チューター制度の意義について

チューターは、さまざまな業務を通して、リーダーシップを実践し、成長をはかる機会を得ながら、経済的支援が受けられます。また、チューター同士、そしてサポートの対象となる学生やフェローおよび教員など、カレッジのさまざまな人と関わるすることができます。新渡戸カレッジのチューター制度は、授業の運営や学生の支援に留まらず、カレッジに関わる人々とのつながりを促進するしくみとなっています。

2-2. チューターの募集について

新渡戸カレッジの授業設計や授業支援に取り組む積極性を持ち、学部・学年を超えたカレッジ生同士の交流をはかることに関心があるなど、チューター制度を自主的・積極的に活用しようとする意欲のある学

生を募集します。

資格

次のいずれかに該当する人が応募できます（チューター業務の経験の有無は問いません）。

- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する 2 年次以上の学部生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する大学院生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムを修了した本学大学院生

定員

前期 25 名程度・後期 25 名程度

選出方法

公募を行い、書類審査によって決定します。

2-3. コアチューターについて

チューター制度には、チューター全体の統括役を担う「**コアチューター**」が置かれています。コアチューターは、中心メンバーとしてリーダーシップを発揮し、チューターと担当教員、フェロー間の調整やチューターへの指導・助言を行います。コアチューターには、グローバルリーダーとしての資質を伸ばすべく、より積極的な姿勢が求められます。

資格

チューター経験者のうち、次のいずれかに該当する方の中から選ばれます。

- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する 3 年次以上の学部生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムに在籍する大学院生
- 新渡戸カレッジオナーズプログラムを修了した本学大学院生

定員

通年3名程度

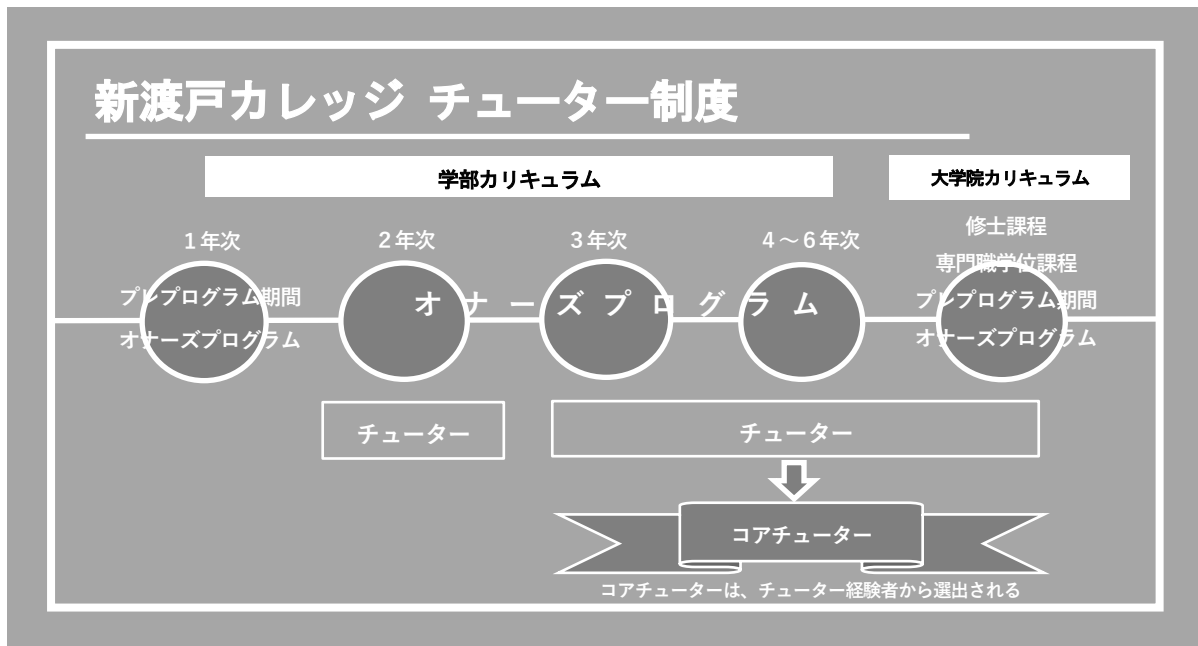
選出方法

チューターとしての業務を教員が評価して選出

2-4. チューターの採用スケジュール（予定）について

前期のチューターは、グローバル基礎科目の支援を、後期のチューターは、新渡戸学（フェローゼミ）（p.14）の支援を主に行うほか、期間中の行事運営の支援を行うこともあります。

月	第1学期（グローバル基礎科目など） 勤務期間：3 ヶ月（予定） （事前研修 1 ヶ月+授業実施 2 ヶ月）	月	第2学期（フェローゼミなど） 勤務期間：3 ヶ月（予定） （授業実施 2 ヶ月+実施後 1.2 ヶ月（希望者のみ））
3	募集開始	7	募集開始
4	事前研修	8	
5		9	事前説明会、担当フェローとの打合せ
6	夏ターム授業開始	10	第2学期 授業開始
7		11	
8	事後研修	12	チューター振り返り



3. 授業以外のプログラム・行事

新渡戸カレッジは、授業科目のほか、新渡戸カレッジ生を対象とするプログラムや行事を提供します。参加は任意ですが、いずれもグローバルリーダーとしての資質の拡充やキャリア設計を進める上で役立つことから、積極的に活用してください。

3-1. ポイント制度

新渡戸カレッジ生を対象とするプログラムや行事に参加した場合、一定の要件を満たすことにより、ポイントが付与される制度です。

ポイントは、オーナーズプログラムにおいて、新渡戸カレッジ生として積極的に活動した証です。

学生表彰（新渡戸カレッジ奨励賞）を実施するうえでの判定基準のひとつとなります。

3-2. 講演会・レクチャーシリーズ

講演を聴いて学ぶ機会として、新渡戸カレッジの学部カリキュラム主催の「新渡戸カレッジ特別講演会」、大学院カリキュラム主催の「メンターフォーラム」、現代日本学プログラム主催のレクチャーシリーズがあります。

新渡戸カレッジ特別講演会

新渡戸稲造の業績に造詣の深い講師や、国際社会でグローバルに活躍する講師から、新渡戸稲造の精神や多様な文化状況下における経験について学び、自分の学生生活を見直すとともに、来るべき社会に向けて自らの目標を考える機会とする目的で年数回実施する予定です。

開講日時	回数	講師	参加対象
平日 6 講時	年数回程度 (予定)	北大関係教員・フェロー・外部招へい講師	新渡戸カレッジ生・ 全学生・教職員

※ 講演会に参加した場合は各回 1 ポイントを付与

※ 講演会に参加し、提出レポートが受理された場合は各回 3 ポイントを付与

メンターフォーラム

大学院カリキュラムでは、メンターによる講演会等からなるメンターフォーラム（使用言語：英語）を年に2回開催しています。実社会での経験を活用して、新渡戸カレッジ生のキャリア意識の醸成、社会的視野の拡大、及び人的ネットワークの形成を支援する機会を与えています。

開講日時	回数	講師	参加対象
6/15（日） 12/13（土）	年2回	新渡戸カレッジメンター	新渡戸カレッジ生・ 全学生・教職員等

※ メンターフォーラムへの参加により各回1ポイントを付与

現代日本学プログラム レクチャーシリーズ

現代日本学プログラムにおいて企画・実施する日本研究分野の専門家による講演会、セミナー、ワークショップ等（使用言語：英語）に参加し、現代日本学の最先端を学ぶことができます。

開講日時	回数	講師	参加対象
平日 4～6講時	各学期 7～8回程度 (予定)	日本研究分野の専門家	新渡戸カレッジ生・全学生

※ レクチャーシリーズに参加した場合は各回1ポイントを付与

※ レクチャーシリーズに参加し、提出レポートが受理された場合は各回3ポイントを付与

3-3. 入校式（新渡戸カレッジ生・フェローと関わる行事）※新入校生用のため参考情報として掲載

授業以外で他のカレッジ生やフェローとの出会いや関わる機会を提供する行事として、入校式があります。

新しく入校した学生が、カレッジ生としての自覚を持って学習や活動に臨む姿勢を確立するよう、基調講演やガイダンス、先輩のカレッジ生による発表などを予定しています。特別な理由がない限り参加してください。

実施日	時刻（予定）	場 所
10/4（土）	9:30-10:30	高等教育推進機構 大講堂（Sky HALL）

3-4. その他の大学による行事・プログラム

新渡戸カレッジ生の参加できる新渡戸カレッジ以外の行事・プログラムとして、学務部国際交流課による「海外留学帰国報告会」、現代日本学プログラムによる「現代日本学プログラムタンドム学習」、各出局等の企画によるものがあります。

海外留学帰国報告会

各種留学プログラムから帰国した学生の帰国報告会に参加し、留学の意義や目的、海外生活の方法、勉学のコツ、友達の作り方等の留学情報を収集し、自分の留学時に役立てることができます。

実施日時	回数	参加対象
今後通知	年数回程度	新渡戸カレッジ生、全学生（発表者は除く）

※ 海外留学帰国報告会参加により各回1ポイントを付与（ただし、同一タイトルで実施されるものは、まとめて1ポイント）

現代日本学プログラムタンデム学習

現代日本学プログラム予備課程において、日本語を集中的に学んでいる学生との協同学習で、留学生への支援を通して言語運用（英語）の実践的使用、自国の文化の相対的理解、持続的な国際交流の礎を作ることを目的とします。

開講日時	時期	参加対象
金曜 4 講時（予定）	第 2 学期	新渡戸カレッジ生

※ 出席した場合には 3 ポイントを付与（ただし、全 15回のうち10回以上出席することが条件となる）

部局等企画行事・プログラム

各部局等が企画・実施する講演会、セミナー、ワークショップ等の行事・プログラムのうち、新渡戸カレッジ生の自発的な参加を求めるものがあります。

参加によってポイントを得られますが、同一テーマのもとで複数回にわたって実施される行事は、1 回の行事とみなして付与します。

時期・回数	参加対象
随時	新渡戸カレッジ生、全学生

※ 出席した場合には各回 1 ポイントを付与（参加型行事の場合は 1 つのタイトルについて 1 ポイントを付与）。

※ 実施日の約1ヶ月前に案内を通知します。

3-5. 学外のコンペティション等への参加・学生による企画

学外の企業や団体等による行事・プログラムに参加して発表や展示等を行った場合や、新渡戸カレッジ生自身が行事やプログラムを企画した場合、新渡戸カレッジの教育目標に沿ったものであることを校長が認めた上で、ポイントが付与されます。

なお、所定の手続きによる審査を経て助成金が支給される場合もあります（詳細は新渡戸カレッジ担当からの通知を確認してください）。

学外の企業や団体等主催のコンペティション等への参加

新渡戸カレッジ生には、学外の企業や団体の主催によるコンペティション（例えば Hult Prize）等に参加し、様々な分野の学生によるグループワークやプレゼンテーションを通して、課題解決能力やリーダーシップを発揮する力などの実践的な力を身につけることを推奨します。

参加者には、新渡戸カレッジの教育目標に沿ったものであることを校長が認めた上で、一つのイベントにつき3ポイントが付与されます。

3-6. 学生による企画行事

全新渡戸カレッジ生には、学部や学年の枠を超えた交流や自由な討論による学びの機会として、自ら自主ゼミ等の行事・プログラムを企画して、カレッジ生やそれ以外の学生・教職員などに参加を働きかけることが期待されます。

行事・プログラムの企画者には、1 行事につき 3 ポイントが付与され、参加者には、1 行事につき 1 ポイントが付与されます。

4. 活動・交流の場:新渡戸カレッジ学生交流室(大塚ルーム)

新渡戸カレッジ学生交流室（寄附者の大塚榮子前フェローに因んで「大塚ルーム」と称する。）は、新渡戸カレッジに在籍する学部生や大学院生が学習活動を行うための場所として、2020年に高等教育推進機構内（1階 N140 全学教育スタッフ室手前）に設置されました。

大塚ルームで行われる学習活動として、新渡戸カレッジの授業や各種ゼミの予習・復習をはじめ、自主的な学習会、学生企画の行事やプログラムの準備や打合せ、フェローやメンターとの交流、チューターやTA業務などがあります。

大塚ルームは演習室くらいの広さ（定員 30 名弱まで）があり、グループワークのできる大きなテーブルのほか、ポータブル PC（Windows 搭載）、プリンター、ホワイトボード、プロジェクターを備えています。

4-1. 利用対象者

新渡戸カレッジに在籍する学部生と大学院生および新渡戸カレッジ関連の授業に採用された TA とチューターが利用できます。

4-2. 利用可能時間帯

平日 9 時～17 時を原則とします。

17 時以降や土日の利用を希望する場合は、新渡戸カレッジ担当（学部）に相談してください。

4-3. 利用予約方法

次の 1)と 2)を記入の上、下記の新渡戸カレッジ担当（学部）にメールで申し込んでください。

nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp

1) メール件名を「【大塚ルーム予約】希望日、学生番号 氏名」としてください。

（例：【大塚ルーム予約】10月27日（木）1234567 新渡戸稲造）

2) メール本文に、学生番号・氏名・利用希望日時・用途（例：学生企画行事の打合せのため、チューター業務のため、フェローゼミ打合せのため）・利用人数を記入してください。

4-4. 利用にあたっての注意事項

- 利用を希望する場合は、予約してください。
- 利用できるのは最長 2 時間までです。
- 備品は利用できますが、使用後は元に戻してください。
- 備品は共用のものなので、破損、汚損、紛失しないよう大切に扱ってください。
- プリンターの利用は、新渡戸カレッジの授業やプログラムで必要な場合に限りです。
- 室内での飲食は禁止です（ただし、こぼさないような密閉容器（ペットボトルやマイボトルなど）に入った飲み物の場合は可）。
- 室内を清潔に保ち、必要に応じて清掃を行うなど、次の利用者のための配慮をお願いします。
- 換気を十分に行ってください。
- 注意事項を守ることができない場合は、利用を禁止することがあります。

IV. 新渡戸カレッジ関連資料

1. 新渡戸カレッジ相談先

新渡戸カレッジでの履修・行事など全般

相談事項	担当	内線	場所・E-mail
履修・行事・その他	新渡戸カレッジ 担当（学部）	5414 5135	高等教育推進機構 1F ⑥番窓口 nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp

留学・海外研修等

相談事項	担当	内線	場所・E-mail	
留学アカデミックサポート (留学相談)	しょう らん 肖 蘭	8042	学生交流ステーション xiao.lan@oia.hokudai.ac.jp	
	ラ フェイ・ミシェル La Fay Michelle	4078	文学部E 棟 401 mlafay@let.hokudai.ac.jp	
留学情報・ 手続き	交換留学・ 海外短期語学研修	国際交流課	8054	学生交流ステーション 1F jryugaku@oia.hokudai.ac.jp
	国際インターン シップ		8040	学生交流ステーション 1F huiip@academic.hokudai.ac.jp
	グローバル・キャリア・ デザイン			学生交流ステーション 1F ambitious@oia.hokudai.ac.jp

授業

相談事項	担当	内線	場所・E-mail
グローバル基礎科目 学生自主企画	うちだ はるこ 内田 治子	8196	情報教育館 3F ucd-hrk@high.hokudai.ac.jp
フェローゼミ	はたなか たかみ 畑中 貴美	8195	情報教育館 3F thatanaka@high.hokudai.ac.jp
フェローゼミ セルフキャリア発展ゼミ (CDS)	かわたに ゆいま 川谷 維摩	7491	情報教育館 3F yuima-kawatani@high.hokudai.ac.jp
セルフキャリア発展ゼミ (CDS)	しょう らん 肖 蘭	8042	学生交流ステーション xiao.lan@oia.hokudai.ac.jp
大学と社会 インターンシップ (国内)	かめの じゅん 亀野 淳	6928	情報教育館 4F jkameno@high.hokudai.ac.jp
留学生との交流	ラ フェイ・ミシェル La Fay Michelle	4078	文学部E 棟 401 mlafay@let.hokudai.ac.jp

2. 新渡戸カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項

授業科目	基礎修了単位数	オナーズ修了単位数	進級要件・卒業要件	履修登録上限	備考（履修に関する注意事項）
留学支援英語 ^{*1}	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 履修登録は全学教育科目（英語演習）として4月14日（月）までに抽選に申し込むこと 新渡戸カレッジ入校希望者のうち第1学期に履修する場合は4月8日（火）から開始する希望の曜日講時の授業に参加する 全学教育科目（外国語演習 英語演習）として単位認定される
海外短期語学研修			○		<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目（外国語演習）として履修する 夏季・春季集中
国際交流科目	*2	*2		*3	<ul style="list-style-type: none"> 2年次以降の取扱いは学部を確認すること 全学教育科目と合同開講の「英語演習」を国際交流科目として履修する場合は、国際交流課の窓口で申請すること 国際交流科目として履修する
日本文化・社会に関する理解増進科目					<ul style="list-style-type: none"> 国際交流科目として履修する
専門横断科目					<ul style="list-style-type: none"> 履修登録や単位の取扱いは学部により異なる
英語による学部専門科目					<ul style="list-style-type: none"> 履修登録や単位の取扱いは学部により異なる
グローバル基礎科目 （国際理解と海外留学）			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目の総合科目（特別講義）として履修する 金曜日5講時の受講希望者が多数の場合、抽選により、<u>金曜日6講時に実施する同一授業の受講となる場合がある</u>ので注意すること <u>初回の授業には、特別な理由がない限り必ず出席すること</u>
グローバル基礎科目 （リーダーシップとチームワーク）		3	○	○	
新渡戸学（フェローゼミ）					<ul style="list-style-type: none"> 新渡戸カレッジ独自科目として履修する （Web履修登録システム上の申請は不要、申込方法等は、別途通知する）
新渡戸学（セルフキャリア発展ゼミ）		2			

授業科目	基礎 修了 単位数	オ ナ ー ズ 修 了 単 位 数	進 級 要 件 ・ 卒 業 要 件	設 定 登 録 上 限 科 目	履 修 登 録 上 限	備考（履修に関する注意事項）		
フィールド型演習 ^{*1}	*2		○			<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として履修する 		
多文化交流科目						○	○	<ul style="list-style-type: none"> 履修登録は全学教育科目（多文化交流科目）として4月14日（月）までに抽選に申し込むこと 新渡戸カレッジ入校希望者のうち第1学期に履修する場合は4月8日（火）から開始する希望の曜日講時の授業に参加する 全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として単位認定される
インターンシップ（国内）								<ul style="list-style-type: none"> 履修希望者は、所定の説明会に必ず参加すること 全学教育科目（共通科目「インターンシップ」）として単位認定される
大学と社会						○	○	<ul style="list-style-type: none"> 全学教育科目の総合科目（特別講義）として履修する
グローバル・キャリア・デザイン						○		<ul style="list-style-type: none"> 履修希望者は、所定の説明会に必ず参加すること 全学教育科目の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）として単位認定される 夏季・春季集中
海外留学							1 or 2	

*1 集中講義として開講されるものは履修上限単位に含まれない。詳細は別途掲示にて周知する。

*2 基礎プログラム履修期間中に修得した単位（必修科目の単位以外）は、オナーズプログラムを履修する場合において、既修得単位として認める。

*3 国際交流科目については、1年次は履修上限単位に含まれない。2年次以上は進級先の学部により異なる。詳細は、高等教育推進機構国際教育研究部のウェブサイト (<https://isc.high.hokudai.ac.jp/>) を確認すること。

3. 新渡戸カリキュラムの履修手続き・英語試験情報

【第1学期】

事項	日程	備考
全学教育科目授業開始	4月8日（火）	オナーズプログラム修了に向けて、他の科目とのバランスをはかった上で早めに履修することを推奨します。
第1次Web履修登録、抽選科目の申込	4月7日（月）～14日（月）	
抽選科目の結果発表・	4月16日（水）7:00	
抽選科目の追加申込	4月17日（木）	
第2次Web履修登録	4月16日（水）7:00～18日（金）	

【第2学期】

事項	日程	備考
全学教育科目授業開始	10月1日（水）	オナーズプログラム修了に向けて、他の科目とのバランスをはかった上で早めに履修することを推奨します。
第1次Web履修登録、抽選科目の申込	9月19日（金）～25日（木）	
抽選科目の結果発表・追加申込	9月29日（月）	
第2次Web履修登録	9月29日（月）17:00～10月7日（火）	
TOEFL-ITP 実施	12月20日（土）（予定）	カレッジ生は無料で受験できます。英語力の維持・向上は在籍確認や留学に必要なので、積極的に受けてください。

4. 履修に関するQ&A

Q1 新渡戸カリキュラムの授業科目は履修上限単位数に含まれますか？

A1 1年次については、次表のとおりです。2年次以上については、進級先の学部が定めます。2 新渡戸カリキュラムの授業科目単位の取扱い・履修に関する注意事項（p. 32）もあわせて確認してください。

履修上限単位数に含まれるもの	履修上限単位数に含まれないもの
グローバル基礎科目、留学支援英語、多文化交流科目、大学と社会	留学支援英語（集中講義）、フィールド型演習（集中講義）、グローバル・キャリア・デザイン（集中講義）、海外短期語学研修（集中講義）、国際交流科目、新渡戸学

※ 1年次においては、留学支援英語、多文化交流科目を自由設計科目として登録及び登録区分の変更をすることによって、2単位までは履修上限設定外とすることができます。登録及び登録区分変更期間などの自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

Q2 新渡戸カリキュラムの授業科目を履修したいのですが、すでに上限単位になってしまいました。履修する方法を教えてください。

A2 履修を希望する科目によって方法が異なります。

◆ 「留学支援英語」

次の3つの方法があります。

- 1) 履修上限単位数に含まれない集中講義の受講が可能です。夏季の集中講義を履修してください（詳細は p.11）。
- 2) 別の学期に受講することで上限単位の制限を回避することができます。
- 3) 1 年次に自由設計科目として登録・登録期間変更を行うことができます（自由設計科目には 2 単位まで登録可能）。自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

◆「多文化交流科目」

次の 2 つの方法があります。

- 1) 別の学期に受講することで上限単位の制限を回避できます（日程など詳細は p.13）。
- 2) 1 年次に自由設計科目として登録・登録期間変更を行うことができます（自由設計科目には 2 単位まで登録可能）。自由設計科目についての詳細は「総合教育部便覧」を参照してください。

◆「フィールド型演習」「グローバル・キャリア・デザイン」「海外短期語学研修」

集中講義で開講されるので履修上限単位数に含まれません。

◆「国際交流科目」

- 1 年次は履修上限単位数には含まれません。
- 2 年次以降は進級先の学部によって異なります。

Q3 学部カリキュラムの授業科目を自由設計科目にしても、新渡戸カレッジの修了要件として認められますか？

A3 新渡戸カレッジ修了要件として認められます。

Q4 留学支援英語を受講する予定ですが、同じ学期中に他の英語演習の受講もできますか？

A4 履修上限単位数の範囲内であれば、科目の抽選に申請して当選することで受講できます。

Q5 入校ができなかった場合、翌年度2年次入校に再チャレンジできますか？

A5 2024年度よりカリキュラムが変更されて、2年次入校制度が廃止されたため、再チャレンジはできませんので注意してください。

Q6 事情により大学を休学する場合、新渡戸カレッジにも連絡する必要がありますか？

A6 メール（nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp）にてお知らせください。

Q7 事情により新渡戸カレッジを退校したいのですが、⑥番窓口にて伝えることでよいのでしょうか。

A7 まずは、⑥番窓口にて相談してください。その結果、退校を希望する場合は、メール（nitobe-event@academic.hokudai.ac.jp）にて、所属学部等、学生番号、氏名、退校希望年月日、退校理由をお知らせください。

5. 新渡戸カレッジ奨励賞

新渡戸カレッジでは、成績が優秀で、優れた活動を行った新渡戸カレッジ生に対し、新渡戸カレッジ奨励賞を授与し、表彰しています。

表彰は年 1 回(1-2月頃)実施しており、個人の表彰回数は新渡戸カレッジ在籍期間中 1 回です。

新渡戸カレッジポイント（p.26）、新渡戸カレッジにおける活動、成績などに基づいて、総合的に判断します。

2025年度の子定(4~9月)

2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月
1 火	1 木	1 日	1 火	1 金	1 月
2 水	2 金	2 月	2 水	2 土	2 火
3 木	3 土	3 火	3 木	3 日	3 水
4 金	4 日	4 水 夏ターム開始	4 金	4 月 入校申請、Fゼミ希望調査開始	4 木
5 土	5 月	5 木	5 土	5 火	5 金
6 日	6 火	6 金	6 日	6 水	6 土
7 月 入校説明会(第1回目)	7 水	7 土	7 月	7 木	7 日
8 火 春ターム開始	8 木	8 日	8 火	8 金 入校申請、Fゼミ希望調査バ切	8 月
9 水	9 金	9 月	9 水	9 土	9 火
10 木	10 土	10 火	10 木	10 日	10 水
11 金	11 日	11 水	11 金	11 月	11 木
12 土	12 月	12 木	12 土	12 火	12 金
13 日	13 火	13 金	13 日	13 水	13 土
14 月	14 水	14 土	14 月	14 木	14 日
15 火	15 木	15 日	15 火	15 金	15 月
16 水	16 金	16 月	16 水	16 土	16 火
17 木 オナーズプログラムガイダンス	17 土 ㊦CDS(1回目)	17 火	17 木	17 日	17 水
18 金 オナーズプログラムガイダンス	18 日	18 水	18 金	18 月	18 木
19 土	19 月	19 木	19 土	19 火	19 金 入校生発表、Fゼミ所属発表
20 日	20 火	20 金	20 日	20 水	20 土
21 月	21 水	21 土	21 月	21 木	21 日
22 火	22 木	22 日	22 火	22 金	22 月
23 水	23 金	23 月	23 水	23 土	23 火
24 木	24 土	24 火	24 木	24 日	24 水
25 金	25 日	25 水	25 金	25 月	25 木
26 土	26 月	26 木	26 土	26 火	26 金
27 日	27 火	27 金	27 日	27 水	27 土 ㊦CDSフォローアップ
28 月	28 水	28 土 ㊦CDS合宿(1日目)	28 月 入校説明会(第2回目)	28 木	28 日
29 火	29 木	29 日 ㊦CDS合宿(2日目)	29 火	29 金	29 月
30 水	30 金	30 月	30 水	30 土	30 火
	31 土		31 木	31 日	

㊦ オナーズプログラム

CDS：セルフキャリア発展ゼミ

Fゼミ：フェローゼミ

2025年度の予定（10～3月）

10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
1 水 秋ターム開始	1 土 IELTSテスト	1 月	1 木	1 日	1 日
2 木	2 日	2 火	2 金	2 月	2 月
3 金	3 月	3 水	3 土	3 火	3 火
4 土 入校式 フェローゼミ(第1回目)	4 火	4 木	4 日	4 水	4 水
5 日	5 水	5 金	5 月	5 木	5 木
6 月	6 木	6 土 公開シンポジウム・成果 報告会	6 火	6 金	6 金
7 火	7 金	7 日	7 水	7 土	7 土
8 水	8 土 フェローゼミ(第4回目)	8 月	8 木	8 日	8 日
9 木	9 日	9 火	9 金	9 月	9 月
10 金	10 月	10 水	10 土	10 火	10 火
11 土	11 火	11 木	11 日	11 水	11 水
12 日	12 水	12 金	12 月	12 木	12 木
13 月	13 木	13 土	13 火	13 金	13 金
14 火	14 金	14 日	14 水	14 土	14 土
15 水	15 土	15 月	15 木	15 日	15 日
16 木	16 日	16 火 在籍確認 振返りレポート 英語スコア提出開始	16 金 在籍確認 振返りレポート 英語スコア提出〆切	16 月	16 月
17 金	17 月	17 水	17 土	17 火	17 火
18 土 フェローゼミ(第2回目)	18 火	18 木	18 日	18 水	18 水
19 日	19 水	19 金	19 月	19 木	19 木
20 月	20 木	20 土 TOEFL-ITPテスト	20 火	20 金	20 金
21 火	21 金	21 日	21 水	21 土	21 土
22 水	22 土 フェローゼミ(第5回目)	22 月	22 木	22 日	22 日
23 木	23 日	23 火	23 金	23 月	23 月
24 金	24 月	24 水	24 土	24 火	24 火
25 土 フェローゼミ(第3回目)	25 火	25 木	25 日	25 水	25 水 学位記授与式 新渡戸カレッジ修了式
26 日	26 水	26 金	26 月	26 木	26 木
27 月	27 木	27 土	27 火	27 金	27 金
28 火	28 金 冬ターム開始	28 日	28 水	28 土	28 土
29 水	29 土 ㊟CDSフォローアップ	29 月	29 木		29 日
30 木	30 日	30 火	30 金		30 月
31 金		31 水	31 土		31 火

V. 卷末資料

別表：国際交流科目

2025 年度 1 学期「国際交流科目」

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名 ※留意事項	英語レベル	定員
Serious games: theory and design	2	月 2	ロブ ナイジェル	全学	英語演習中級：Serious games: theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
Language Science in Manga, Anime and Beyond	2	月 2	原 由理枝	全学	英語演習中級：Language Science in Manga, Anime and Beyond	TOEFL-ITP 500未満	
Introduction to Inorganic Materials Science	1	夏ターム 月 4	忠永 清治	単独	※講義の一部でオンライン講義を実施することを予定している。		
Culture I (Theory)	2	月 4	クリーン スザンネ	学部	日本文化論 I	TOEFL-ITP 550	20
Introduction to Japanese History I: Between War and Peace	2	月 4	ミシルツ ヒヤエル	学部	Introduction to Japanese Studies I (History)	TOEFL-iBT 110	25
Introduction to Environmental Earth Science	2	月 4	三輪 京子	単独	※講義の中にミニ実験・野外散策等を含むため、オンラインでは受講できない		25
Countries and Cultures	2	月 5	ラフェイ・ミシェル	全学	社会の認識 国と文化	TOEFL-iBT 79	30
Film Language, and Culture	2	月 5	ポール スパイサー	全学	英語演習上級：Film Language, and Culture	TOEFL-ITP 500以上	
Boardgames history, theory and design	2	月 5	マーティン ポール	全学	英語演習中級：Boardgames history, theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
Linear Algebra I	2	火 1	スクリムシャー トラビス	全学	線形代数学 I		30
Electromagnetism II	2	火 1	鈴木 久男	学部	電磁気学 II		
Values of Tourism	2	火 1	エデルヘイム ヨハン	全学	社会の認識 Value of Tourism		25
Introduction to Japanese Society	2	火 1	クック エマ	学部	Introduction to Japanese Studies III (Society)	TOEFL-iBT 80	
Integrated Science II	2	火 1	ウェイクマン・ケヴィン	全学	【 The World of Science and Technology】Integrated Science II	TOEFL-PBT 550	
Seminar in Electromagnetism II	1	火 2	鈴木 久男	学部	電磁気学演習 II		
Serious games: theory and design	2	火 3	ロブ ナイジェル	全学	英語演習中級：Serious games: theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
Gender and Sexuality in Contemporary Japan	2	火 3	クック エマ	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 80	
Advanced mechanics of polymeric materials	2	春ターム 火 3, 木 3	高橋 航圭	大学院	高分子材料工学特論 (Advanced mechanics of polymeric materials)	TOEFL-iBT 60	

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名 ※留意事項	英語レベル	定 員
Popular Music & Society	2	火 3	ポール スパイサー	全学	英語演習上級：Popular Music & Society	TOEFL-ITP 500以上	
Exploring Culture & Cultural History	2	火 4	ポール スパイサー	全学	英語演習中級：Exploring Culture & Cultural History	TOEFL-ITP 500未満	
Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	火 4	シルツ ミハヤエル	学部	Aspects of Japan I		25
Contemporary Japanese Society	2	火 4	フィルコラ ピーター	単独	Introduction to Japanese Studies III: Society	TOEFL-iBT 80	40
Japanese Foreign Policy I	2	火 5	佐々田 博教	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 500	
Resources Sustainability	2	夏ターム 火 5, 水 4"	藤井 義明	大 学 院	Resources Sustainability ※この科目は主にオンデマンドで提供されるが、最後の3回は履修学生にライブでのプレゼンテーションを行ってもらう	TOEFL-iBT 80	
Pronunciation and Presentation Skills	2	水 1	クラッスン マーシャル	全学	英語演習中級：Pronunciation and Presentation Skills	TOEFL-ITP 500未満	
Cognitive Linguistics and Religious Language	2	水 2	リチャードソン ピーター	全学	英語演習中級：Cognitive Linguistics and Religious Language	TOEFL-ITP 500未満	
Education and Society in Japan	1	春ターム 水 3	阿部 匡樹	学部	教育学国際講義(日本の学校と社会)	TOEFL-ITP 500	20
Introduction to Social Theory	2	水 3	クック エマ	学部	日本社会論 I	TOEFL-iBT 80	
History and Memory in Modern Japan	2	水 3	野澤俊介 / ブル ジョナサン	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 80	20
Japanese Politics	2	水 4	佐々田 博教	学部	Introduction to Japanese StudiesIV (Political Economy)	TOEFL-ITP 500	
Boardgames history, theory and design	2	水 5	マーティン ポール	全学	英語演習中級：Boardgames history, theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
Readings in Religion	2	水 5	リチャードソン ピーター	全学	英語演習中級：Readings in Religion	TOEFL-ITP 500未満	
Popular Music & Society	2	水 5	ポール スパイサー	全学	英語演習上級：Popular Music & Society	TOEFL-ITP 500以上	
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	水 5	野澤 俊介	学部	Introduction to Japanese Studies II (Culture)	TOEFL-iBT 80	25
Anthropology of (Im) Mobility	2	水 5	クリーン スザンネ	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-ITP 550	25
General Biology I	2	木 1	フォルトゥナート エレーナ	全学	生物学 I		

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名 ※留意事項	英語レベル	定員
Collaborative storytelling	2	木 2	マーティン ポール	全学	英語演習上級：Collaborative storytelling	TOEFL-ITP 500以上	
Statistical Mechanics II	2	木 3	アリンダム ダス	学部	統計力学II		
Geotechnical Foundation Engineering	2	春ターム 木 3, 木 4	磯部 公一	学部	Geotechnical Foundation Engineering ※土質力学の基礎知識が求められる		10
Seminar in Statistical Mechanics II	2	木 4	アリンダム ダス	学部	統計力学演習II		
Japanese Management	2	木 4	フィルコラ ピーター	単独	Japanese Political Economy: Theory & Practice 1	TOEFL-iBT 80	40
Historical International Experiences	2	木 5	ラフェイ・ミシェル	全学	英語演習：歴史的国際体験	TOEFL-iBT 79	30
Electromagnetism I	2	金 1	鈴木 久男	学部	電磁気学I		
Seminar in Electromagnetism I	1	金 2	鈴木 久男	学部	電磁気学演習I		
Classical Mechanics I	2	金 3	サラク ドラガン	学部	力学I		
Quantum Mechanics II	2	金 3	アリンダム ダス	学部	量子力学II		
Seminar in Mechanics I	1	金 4	サラク ドラガン	学部	力学演習I		
Seminar in Quantum Mechanics II	1	金 4	アリンダム ダス	学部	量子力学演習II		
Media Translation	2	金 4	クラッスン マーシャル	全学	英語演習中級：Media Translation	TOEFL-ITP 500未満	
Career Planning	2	金 4	フィルコラ ピーター	単独	Aspects of Japan II: Career Planning	TOEFL-iBT 80	40

※開講形態の記載区分について

- ・ 全学：英語演習以外の全学教育科目と合同開講される講義
- ・ 学部：学部専門科目と合同開講される講義
- ・ 単独：合同開講はせず、国際交流科目として単独開講される講義
- ・ 大学院：大学院専門科目と合同開講される講義

2025 年度 2 学期「国際交流科目」

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Chemistry and English for Life Science	2	秋ターム 月1, 水1	スワミィ マハデバ マカナ ハリ マテゴウダ	学部	基礎化学英語 (Chemistry and English for Life Science)		10
Statistical Mechanics I	2	月1	アリンダム ダス	学部	統計力学 I		
Seminar in Statistical Mechanics I	1	月2	アリンダム ダス	学部	統計力学演習 I		
Analyzing the Language of Mysticism	2	月2	リチャードソン ピーター	全学	英語演習中級: Analyzing the Language of Mysticism	TOEFL-ITP 500未満	
Boardgames history, theory and design	2	月2	マーティン ポール	全学	英語演習中級: Boardgames history, theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月3	ブル ジョナサン	学部	Introduction to Japanese Studies I (History)		20
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	月4	クリーン スザンネ	学部	Introduction to Japanese Studies II (Culture)	TOEFL-ITP 550	25
Christianity in Japan	2	月5	ラフェイ・ミシェル	全学	社会の認識 日本におけるキリスト教	TOEFL-iBT 79	30
Japanese History (Theory & Practice) II	2	月5	シルツ ミヒヤエル	学部	日本歴史論 II	TOEFL-iBT 110	25
Immigrants and society	2	月5	肖 蘭	全学	【社会の認識】移民と社会を考える (Immigrants and society)	TOEFL-iBT61 TOEFL-ITP500	25
The Economics of Biodiversity	2	月5	謝 子晋	全学	生物多様性の経済学 (The Economics of Biodiversity)	TOEFL-ITP550	20
History of Geology	2	火1	ピトン マリ	全学	英語演習 (中級: 地質学の歴史)		15
Scientific literacy: An introduction to science and scientific thinking	2	火1	バウア ジョン リチャード	全学	中級: Scientific literacy: An introduction to science and scientific thinking 「科学的リテラシー: 科学と科学的思考入門」		25
Language Science in Manga, Anime and Beyond	2	火1	原 由理枝	全学	英語演習中級: Language Science in Manga, Anime and Beyond	TOEFL-ITP 500未満	
Health and Illness in Japan	2	火1	クック エマ	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 80	
Integrated Science I	2	火1	ソン・ユー	全学	【科学・技術の世界】 Integrated Science I	TOEFL- PBT 550	
International Projects	2	火2	高野 伸栄	学部	International Projects		

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Understanding Religious Experience	2	火 2	リチャードソン ピーター	全学	英語演習中級：Understanding Religious Experience	TOEFL-ITP 500未満	
Introduction to Marine Science	2	火 3	パウア ジョン リチャード	全学	英語演習 中級：Introduction to Marine Science「海洋科学入門」		25
Music Psychology	2	火 5	安達 真由美	大学院	学習過程論特別演習 “Learning Processes (Seminar)”	TOEFL-ITP 500	
Political Economy of Japan and East Asia	2	火 5	佐々田 博教	学部	日本制度論Ⅱ	TOEFL-ITP 500	20
Material Markets: Readings in Financial History	2	火 5	シルツ ミヒヤエル	学部	Aspects of Japan I	TOEFL-iBT 110	25
Popular Music & Society	2	火 5	ポール スバイサー	全学	英語演習上級：Popular Music & Society	TOEFL-ITP 500未満	
Quantum Mechanics I	2	水 1	アリンダム ダス	学部	量子力学Ⅰ		
Science and Technology in History	2	水 1	未定	全学	【Historical Perspectives】Science and Technology in History	TOEFL-PBT 550	
Seminar in Quantum Mechanics I	1	水 2	アリンダム ダス	学部	量子力学演習Ⅰ		
Imperial Russian History: From Peter to Petrograd	2	水 3	ウルフ デイビッド	大学院	スラブ・ユーラシア研究特殊講義		10
Sustainability Studies beyond Hollywood Film (2025)	2	水 3	瀬名波 栄潤	学部	欧米言語文化論		
Society II (Readings)	2	水 3	クリーン スザンネ	学部	日本社会論Ⅱ	TOEFL-ITP 550	20
Indigenous Peoples and Education 2025 II	2	水 4	ゲーマン ジェフリー	全学	英語演習上級:Indigenous Peoples and Education 2025 II	TOEFL-ITP 500以上	
Multiculturalism in Hokkaido and Japan	2	水 4	クック エマ	学部	Multiculturalism in Hokkaido and Japan	TOEFL-iBT 80	
Japanese Politics	2	水 5	石見 禎	学部	Introduction to Japanese StudiesⅣ (Political Economy)	TOEFL-ITP 500	
Field Bioscience in the Northern Biosphere	2	秋ターム 水 5	星野 洋一郎	全学	上級：北方生物圏フィールドバイオサイエンス		30
Introductory Complex Function	1	秋ターム 木 1	アリンダム ダス	学部	複素関数論入門		
Introductory Fourier Analysis	1	冬ターム 木 1	サラク ドラガン	学部	フーリエ解析学入門		
Exercise in Introductory Complex Function	1	秋ターム 木 2	アリンダム ダス	学部	複素関数論入門演習		
Exercise in Introductory Fourier Analysis	1	冬ターム 木 2	サラク ドラガン	学部	フーリエ解析学入門演習		

講義題目	単 位	曜日 講時	担当教員	開講 形態	合同となる科目名	英語レベル	定 員
Hokkaido,Sakhalin and Japanese empire in the Far North,c.1900 to 2000	2	木 3	ブル ジョナサン	学部	Aspects of Japan I		
Boardgames history, theory and design	2	木 3	マーティン ポール	全学	英語演習中級: Boardgames history, theory and design	TOEFL-ITP 500未満	
The Truth of Human Language Syntax	2	木 4	奥 聡	学部	英語学	TOEFL-ITP 530	10
Ecology and Evolution	1	秋ターム 木 4	荒木 仁志	大学院	生態進化学特論		10
Hokkaido: Then and Now	2	木 5	ラフェイ ミシェル	全学	英語演習中級: 北海道~明治と令和	TOEFL-iBT 79	30
Introduction to Design Thinking	2	木 5	鈴木 久男	全学	人間と文化 Introduction to Design Thinking		
Game studies: first-person shooters	2	金 1	ロブ ナイジェル	全学	英語演習中級:ame studies: first-person shooters	TOEFL-ITP 500未満	
Media Translation	2	金 1	クラスン マーシャル	全学	英語演習中級:Media Translation	TOEFL-ITP 500未満	
General Biology II	2	金 2	フォルトゥナート エレーナ	全学	生物学II		
Classical Mechanics II	2	金 3	サラク ドラガン	学部	力学II		
Seminar in Mechanics II	2	金 4	サラク ドラガン	学部	力学演習II		
Boardgames history, theory and design	2	金 5	マーティン ポール	全学	英語演習中級: Boardgames history, theory and design	TOEFL-ITP 500未満	

※開講形態の記載区分について

- ・ 全学：英語演習以外の全学教育科目と合同開講される講義
- ・ 学部：学部専門科目と合同開講される講義
- ・ 単独：合同開講はせず、国際交流科目として単独開講される講義
- ・ 大学院：大学院専門科目と合同開講される講義

別表：日本文化・社会に関する理解増進科目

2025年度1学期「日本文化・社会に関する理解増進科目」

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	英語レベル	定員	合同となる科目名
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月 4	ミヒャエル シルツ	TOEFL-iBT 110 Near native fluency in English is required	25	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies III (Society)	2	火 1	エマ クック	TOEFL-iBT 80		国際交流科目
Aspects of Japan I Gender and Sexuality in Contemporary Japan	2	火 3	エマ クック	TOEFL-iBT 80		国際交流科目
Aspects of Japan I Mindhacks: Organizing your Resources and Research in the Internet Era	2	火 4	ミヒャエル シルツ	Near native fluency in English is required	25	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies III (Society)	2	火 4	ピーター フィルコラ	TOEFL-iBT 80	40	国際交流科目
Aspects of Japan I History and Memory in Modern Japan	2	水 3	"野澤 俊介/ ブル ジョナサン"	TOEFL-iBT 80	20	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies IV (Political Economy)	2	水 4	佐々田 博教	TOEFL-ITP 500		国際交流科目
Aspects of Japan I Anthropology of (Im) Mobility	2	水 5	スザンネ クリーン	TOEFL-ITP 550	25	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	水 5	野澤 俊介	TOEFL-iBT 80	25	国際交流科目

2025 年度 2 学期「日本文化・社会に関する理解増進科目」

講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	英語レベル	定員	合同となる科目名
Introduction to Japanese Studies I (History)	2	月 3	ブル ジョナサン		20	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies II (Culture)	2	月 4	スザンネ クリーン	TOEFL-IPT 550	25	国際交流科目
Aspects of Japan I Health and Illness in Japan	2	火 1	エマ クック	TOEFL-iBT 80		国際交流科目
Aspects of Japan I Material Markets: Readings in Financial History	2	火 5	ミヒャエル シルツ	TOEFL-iBT 110 Near native fluency in English is required	25	国際交流科目
Introduction to Japanese Studies IV (Political Economy)	2	水 5	石見 禎	TOEFL-ITP 500		国際交流科目
Aspects of Japan I Hokkaido,Sakhalin and Japanese empire in the Far North,c.1900 to 2000	2	木 3	ブル ジョナサン			国際交流科目

別表：専門横断科目

2025 年度 1 学期「専門横断科目」

開講部局	講義題目	単位	開講期等	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
高等教育推進機構	実践英語(上級)2025(1)	2	1 学期	畑中 貴美	
	留学とキャリア・デザイン	1	夏ターム	肖 蘭	
	J-MCP オンラインプログラム	2	通年	肖 蘭	
	日本語文法入門 (初級文法 1A)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 1B)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2A)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2B)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 2C)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 3)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 4A)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初級文法 4B)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
	日本語文法入門 (初中級文法)	1	夏ターム	鄭 恵先	○
HSI オリジナル	礼文国際考古学フィールドスクール (学部生対象)	2	夏ターム	加藤 博文	○
	国際 SDGs 入門	1	夏ターム	加藤 悟	○
	現代日本研究	2	夏ターム	Paichadze Svetlana	○
	Diversifying English in theory and professional practice	1	夏ターム	大友 瑠璃子	○
	観光と持続可能でレジリエントな地域開発	1	夏ターム	齋藤 久光	○
	建築構造と耐震技術	1	夏ターム	白井 和貴	○
	日本語・文化基礎Ⅰ (STSI)	1	夏ターム	田部 豊	○
	日本語・文化基礎Ⅱ (STSI)	1	夏ターム	田部 豊	○
	インドの文化と社会入門 (STSI)	1	夏ターム	高橋 航圭	○
	Techniques in STEM education for future teachers	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Science Communication and Related Careers	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Fundamentals of Marine Pathology Lecture	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Fundamentals of Marine Pathology Lab	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○

開講部局	講義題目	単位	開講期等	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
	Marine Invertebrate Zoology Lecture	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	Marine Invertebrate Zoology Lab	1	夏ターム	Wakeman Kevin	○
	HSI 日本社会入門	1	夏ターム	青木 麻衣子	○
	気候変動の心理学 2025	1	夏ターム	大沼 進	○
	史跡ツーリズム：北海道の場合 2025	1	夏ターム	La Fay Michelle Kay	○
	現代アジアの国際政治	2	夏ターム	中村 督	○
	バイオ・ヘルスケアビジネス特別ワークショップ	1	夏ターム	前仲 勝実	○
文	認知科学：文化心理学の最前線 2025	2	夏ターム	結城 雅樹	○
	社会変動論：ジェンダー研究 2025	2	夏ターム	伍 嘉誠	○
	社会構造論：現代日本における人口と格差	2	夏ターム	平松 誠	○
教育	北海道 ESD プログラム—林間学校教育、自然とのつながり、自然保護とスポーツ—	1	夏ターム	池田 恵子	○
法	日本法入門	1	夏ターム	水野 浩二	○
経済	ビジネスモデル入門	2	夏ターム	岡田 美弥子	○
	マネジメントの本質	2	夏ターム	岡田 美弥子	○
理	理学共通演習Ⅰ「理学分野における特定課題研究 2025」	1	夏ターム	河村 裕	○
医	医療 AI 概論	2	通年	工藤 與亮	
獣医	アドバンスト演習 応用アドバンスト：野生動物医学Ⅰ（動物園学）(1)/(2)	2	夏ターム	坪田 敏男	○
	アドバンスト演習 応用アドバンスト：野生動物医学Ⅱ（野生動物の保全と管理）(1)/(2)	2	夏ターム	坪田 敏男	○
	(実施プログラム確定後決定)	未定	通年	石塚 真由美	
メディア・コミュニケーション研究院	東アジアの国際関係と日本の安全保障戦略	1	夏ターム	佐々田 博教	○
情報基盤センター	サイバーセキュリティ基礎演習	1	1学期集中	南 弘征	
	サイバーセキュリティ応用演習	1	1学期集中	南 弘征	
数理・データサイエンス 教育研究センター"	データ活用入門 A	1	夏ターム	行木 孝夫	
	データ活用入門 B	1	夏ターム	行木 孝夫	

2025 年度 2 学期「専門横断科目」

開講部局	講義題目	単位	開講期等	担当教員	HSI サマーインス ティテュート
高等教育推進機構	実践英語(上級)2025(2)	2	2 学期	畑中 貴美	

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。

別表：英語による学部専門科目

2025 年度 1 学期「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
文	Data Analysis & Academic Writing I:2025	2	火 2	ランディ エバンズ	
	Composition & Conversation I 2025	2	水 1	J. W. ラケット	
	Academic Writing I 2025	2	水 2	J. W. ラケット	
	文化心理学の最前線 2025	2	集中	結城 雅樹	SI（サマーインスティテュート）科目、専門横断科目、Frontiers in Cultural Psychology 2025
	ジェンダー研究	2	集中	中野 リン	
教育	日本の学校と社会 2025	1	水 3（春ターム）	阿部 匡樹	国際交流科目（Education and Society in Japan）
	Effective English Communication 2025	2	金 2	WHITFIELD Dale Lee	
法	演習Ⅰ	2	未定	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	演習Ⅱ	3	未定	曾野 裕夫	法学部学生のみ履修可
	国際特殊講義Ⅰ	1	集中	水野 浩二	
経済	マネジメントの本質	2	集中	岡田 美弥子	SI（サマーインスティテュート）科目、専門横断科目、マネジメントの本質（1）/（2）
	ビジネスモデル入門	2	集中	岡田 美弥子	SI（サマーインスティテュート）科目、専門横断科目、ビジネスモデル入門（1）/（2）
理	電磁気学演習Ⅱ	2	火 2	鈴木 久男	・シラバスに明記予定
	科学論文演習	2	木 3～5	小亀 一弘	・シラバスに明記予定
	統計力学演習Ⅱ	2	木 4	Arindam Das	・シラバスに明記予定
	量子力学演習Ⅱ	2	金 4	Arindam Das	・シラバスに明記予定
	科学英語講読	2	集中	比能 洋	・シラバスに明記予定 ・次と同一科目（旧カリ）
	科学英語講読	2	集中	比能 洋	・シラバスに明記予定 ・上記と同一科目（新カリ）
	理学共通演習Ⅰ（理学分野における特定課題研究 2025）	1	集中	河村 裕	・シラバスに明記予定 ・HSI2025 提供科目 ・（合同）専門横断科目（一般科目）：複合領域
歯	歯学英语Ⅰ	1	月 5	バート・ブリックリン・ゼフ	歯学部の学生のみ履修可

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
薬	薬学英語Ⅱ Pharmaceutical English Ⅱ	1	月 2	脇本 敏幸	薬学部の学生のみ履修可
	薬学英語Ⅰ Pharmaceutical English Ⅰ	1	金 2	足利 俊彦	薬学部の学生のみ履修可
工	材料工学実験Ⅰ	2	月 3,月 4, 木 3,木 4	熊谷 剛彦	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure	2	火 3,木 4	長井 宏平	2022年度以降入学者対象科目 （合同科目：維持管理工学）
	Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure	2	火 3,木 4	長井 宏平	2022年度以降入学者対象科目 （合同科目：維持管理工学）
	維持管理工学	2	火 3,木 4	長井 宏平	2021年度以前入学者対象科目 （合同科目：Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure）
	維持管理工学	2	火 3,木 4	長井 宏平	2021年度以前入学者対象科目 （合同科目：Maintenance Engineering for Sustainable Infrastructure）
	Academic Communication Ⅰ	1	水 2	吉井 稔雄	2022年度以降入学者対象科目 （合同科目：科学技術英語演習Ⅰ）
	Academic Communication Ⅰ	1	水 2	吉井 稔雄	2022年度以降入学者対象科目 （合同科目：科学技術英語演習Ⅰ）
	科学技術英語演習Ⅰ	1	水 2	吉井 稔雄	2019年度以前入学者対象 （合同科目：Academic Communication Ⅰ）
	科学技術英語演習Ⅰ	1	水 2	吉井 稔雄	2019年度以前入学者対象 （合同科目：Academic Communication Ⅰ）
	土木計画学演習	1	水 4	峪 龍一	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	土木計画学演習	1	水 4	峪 龍一	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Geotechnical Foundation Engineering	2	木 3,木 4	磯部 公一	2022年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業 （合同科目：地盤基礎工学）
	Geotechnical Foundation Engineering	2	木 3,木 4	磯部 公一	2022年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業 （合同科目：地盤基礎工学）

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
	地盤基礎工学	2	木 3,木 4	磯部 公一	2021 年度以前入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業 （合同科目：Geotechnical Foundation Engineering）
	地盤基礎工学	2	木 3,木 4	磯部 公一	2021 年度以前入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業 （合同科目：Geotechnical Foundation Engineering）
	化学英語(Bクラス)	2	金 1	谷 博文	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	化学英語(Aクラス)	2	金 2	谷 博文	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	科学技術英語演習	1	金 3	森 傑	
農	無機化学	2	月 1,木 1	内田 義崇	
	畜産科学演習Ⅱ	1	月 1	若松 純一(畜産科学科長)	農学部畜産科学科の学生のみ履修可。
	環境政策学	2	火 1	赤堀 弘和	
	応用計量経済学	2	水 3	合崎 英男	農学部農業経済学科の学生のみ履修可。
	生物資源科学特講	2	木 3	愛甲 哲也 (生物資源科学科長)	農学部生物資源科学科の学生のみ履修可。
	生物機能化学演習Ⅳ	1	金 3	信濃 卓郎 (生物機能化学科長)	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可。
	森林科学演習Ⅱ	1	金 5	森本 淳子(森林科学科長)"	農学部森林科学科の学生のみ履修可。
	国際農学概論Ⅱ(新グローバル化時代における地域文化・産業としての農業)	2	集中	森 春英(教務委員長)	
	森林動態実習	1	集中	斎藤 秀之	農学部森林科学科の学生のみ履修可。
国際森林実習	1	集中	森本 淳子(森林科学科長)	農学部森林科学科の学生のみ履修可。	
獣医	獣医学専門セミナーⅠ	0.5	月 4	教務委員長	一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
水産	水産科学英語Ⅰ(海洋生物科学科開講)	1	木 2	海洋生物科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可
	水産科学英語Ⅰ(海洋資源科学科開講)	1	木 2	海洋資源科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可
	水産科学英語Ⅰ(増殖生命科学科開講)	1	木 2	増殖生命科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
	水産科学英語Ⅰ（資源機能化学科開講）	1	木 2	資源機能化学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したもの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。

2025 年度 2 学期 「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
文	Data Analysis & Academic Writing II:2025	2	火 2	ランディ エバンズ	
	Composition & Conversation II 2025	2	水 1	J. W. ラケット	
	Academic Writing II 2025	2	水 2	J. W. ラケット	
	Sustainability Studies beyond Hollywood Film 2025	2	水 3	瀬名波 栄潤	国際交流科目、現代日本学プログラム科目、Sustainability Studies beyond Hollywood Film (2025)
	生成文法の研究 I:2025	2	木 4	奥 聡	国際交流科目、現代日本学プログラム科目、The Truth of Human Language Syntax
法	専門外国語	2	未定	森 悠一郎	
理	基礎化学英語	2	秋ターム 月 1,水 1	MAKANAHALLI MADEGOWDA MAHADEVA SWAMY	・シラバスに明記予定
	環境生物学 II	2	冬ターム 水 2,金 2	越川 滋行	・シラバスに明記予定
	力学演習 II	2	金 4	SALAK Dragan	・シラバスに明記予定
医・医	免疫学	2	集中	小林 弘一	医学部医学科の学生のみ履修可
医・保	地域調査法	1	木 1 (秋ターム)	山内 太郎	・保健学科の学生のみ履修可 ・曜日・講時変更の可能性あり ・一部日本語使用
	国際保健学	1	金 4 (秋ターム)	山内 太郎	・保健学科の学生のみ履修可 ・曜日・講時変更の可能性あり
歯	歯学英语 II	1	月 5	パート・ブリックリン・ゼフ	歯学部の学生のみ履修可
工	Geospatial Information Technology	2	月 2,木 2	高橋 翔	2022 年度以降入学者対象科目
	Geospatial Information Technology	2	月 2,木 2	高橋 翔	2022 年度以降入学者対象科目
	Computational Continuum Mechanics	2	月 3,木 3	岩崎 理樹	2022 年度以降入学者対象科目
	Computational Continuum Mechanics	2	月 3,木 3	岩崎 理樹	2022 年度以降入学者対象科目
	Smart Transport Network	2	月 4,木 4	吉井 稔雄	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
	Smart Transport Network	2	月 4,木 4	吉井 稔雄	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	International Projects	2	火 2	高野 伸栄	2022 年度以降入学者対象科目 （合同科目：国際プロジェクト論）
	International Projects	2	火 2	高野 伸栄	2022 年度以降入学者対象科目 （合同科目：国際プロジェクト論）
	国際プロジェクト論	2	火 2	高野 伸栄	2021 年度以前入学者対象科目 （合同科目：International Projects）
	国際プロジェクト論	2	火 2	高野 伸栄	2021 年度以前入学者対象科目 （合同科目：International Projects）
	Academic Communication II	1	水 2	西村 聡	2022 年度以降入学者対象科目 （合同科目：科学技術英語演習 II）
	Academic Communication II	1	水 2	西村 聡	2022 年度以降入学者対象科目 （合同科目：科学技術英語演習 II）
	科学技術英語演習	1	水 2	西村 聡	2021 年度以前入学者対象科目 （合同科目：Academic Communication II）
	科学技術英語演習 II	1	水 2	西村 聡	2019 年度以前入学者対象科目 （合同科目：Academic Communication II）
	科学技術英語演習 II	1	水 2	西村 聡	2020-2021 年度入学者対象科目 （合同科目：Academic Communication II）
	材料工学実験 II	2	水 3,水 4, 金 3,金 4	熊谷 剛彦	日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
	Academic Communication III	1	集中	内田 賢悦	2022 年度以降入学者対象科目
	Academic Communication III	1	集中	山田 朋人	2022 年度以降入学者対象科目、日本語及び英語のバイリンガル授業、受講者決定後に使用言語（日本語又は英語）を決定する授業
農	畜産科学演習 III	1	月 1	若松 純一(畜産科学科長)	農学部畜産科学科の学生のみ履修可。
	畜産科学演習 I	1	月 1	若松 純一(畜産科学科長)	農学部畜産科学科の学生のみ履修可。
	森林科学演習 I	1	月 5	森本 淳子(森林科学科長)	農学部森林科学科の学生のみ履修可。
	生物機能化学演習 III	1	火 4	信濃 卓郎 (生物機能化学科長)	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可。
	根圏制御学	2	水 2	江澤 辰広	

学部	講義題目	単位	曜日講時	担当教員	備考（履修制限など）
	応用生命科学演習Ⅳ	1	水 3	尾之内 均 (応用生命科学科長)	農学部応用生命科学科の学生のみ履修可。
	生物機能化学演習Ⅴ	1	水 4	信濃 卓郎 (生物機能化学科長)	農学部生物機能化学科の学生のみ履修可。
	食品産業論	2	木 3	清水池 義治	
獣医	獣医学専門セミナーⅡ	0.5	水 5	教務委員長	一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
	獣医英語演習	0.5	金 5	教務委員長	一部、論文指導等で英語開講される場合のみ
水産	水産科学英語Ⅱ(海洋生物科学科開講)	1	木 2	海洋生物科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可
	水産科学英語Ⅱ(海洋資源科学科開講)	1	木 2	海洋資源科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可
	水産科学英語Ⅱ(増殖生命科学科開講)	1	木 2	増殖生命科学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可
	水産科学英語Ⅱ(資源機能化学科開講)	1	木 2	資源機能化学科長	水産学部3年次以上学生のみ履修可

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したもの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。

2025 年度通年科目・通年集中（不定期）「英語による学部専門科目」

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
歯	国際歯科学	1	通年不定期	学部長	歯学部の学生のみ履修可
農	国際農学概論Ⅰ(世界を支える農業文化とその未来を学ぶ～ニュージーランドと北海道の農業～)	1	集中	森 春英(教務委員長)	
獣医	短期現地実習Ⅰ	1	通年集中	教務委員長	海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする。
	短期現地実習Ⅱ	1	通年集中	教務委員長	海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする。
	長期現地実習	2	通年集中	教務委員長	海外での実習のみを「英語による学部専門科目」の対象とする
	アドバンスト演習(応用アドバンスト【野生動物医学Ⅰ】)	1	通年不定期 集中	坪田 敏男	HSI 科目 (Advanced Seminar in Applied Veterinary Medicine: Wildlife Medicine I (Zoo Science) (1)/(2))
	アドバンスト演習(応用アドバンスト【野生動物医学Ⅱ】)	1	通年不定期 集中	坪田 敏男	HSI 科目 (Advanced Seminar in Applied Veterinary Medicine: Wildlife Medicine II (Conservation and management) (1)/(2))
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける大動物獣医療実習Ⅰ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける大動物獣医療実習Ⅱ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける大動物獣医療実習Ⅲ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける野生動物獣医療実習Ⅰ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける野生動物獣医療実習Ⅱ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける野生動物獣医療実習Ⅲ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける産業動物獣医療実習Ⅰ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける産業動物獣医療実習Ⅱ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【AIMSプログラムにおける産業動物獣医療実習Ⅲ】)	1	通年不定期 集中	教務委員長	

学部	講義題目	単位	曜日 講時	担当教員	備考（履修制限など）
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【タイ（チュラロンコン大学）における獣医療実習】）	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【英国（エジンバラ大学）における国際獣医学演習】）	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【ザンビア（ザンビア大学）における国際獣医学演習】）	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(国際獣医学アドバンスト【米国（コロラド州立大学）における国際獣医学演習】）	1	通年不定期 集中	教務委員長	
	アドバンスト演習(One Health アドバンスト【One Health seminar】）	1	通年不定期 集中	堀内 基広	
	アドバンスト演習【学会発表】	1	通年不定期 集中	教務委員長	英語で実施される場合のみ「英語による学部専門科目」該当
	アドバンスト演習(基礎アドバンスト【動物のための動物福祉学実践】）	1	通年不定期 集中	市居 修	英語で実施される場合のみ「英語による学部専門科目」該当
	アドバンスト演習(応用アドバンスト【環境毒性と One Health】）	1	通年不定期 集中	石塚 真由美	
	アドバンスト演習(応用アドバンスト【生態学と GIS】）	1	通年不定期 集中	石塚 真由美	
	アドバンスト演習(基礎アドバンスト【解剖学合同セミナー】)	1	通年不定期 集中	市居 修	英語で実施される場合のみ「英語による学部専門科目」該当
アドバンスト演習(英語アドバンスト【英語演習】)	0.5	通年不定期 集中	HENSHAW MICHAEL JAMES		
水産	特別講義Ⅰ	1	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別講義Ⅱ	2	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別実習Ⅰ	1	不定期		英語にて開講されるものに限る
	特別実習Ⅱ	2	不定期		英語にて開講されるものに限る

<注意事項>

- ・ 開講曜日・講時については、開講学部の教務担当窓口で必ず確認すること。
- ・ 「備考」欄に記載したものの以外にも、履修にあたっての条件等が設けられている場合があるので、必ずシラバスで確認すること。

VI. 参考資料

統合情報共有プラットフォーム「Unire」(ユニーレ)について

令和7(2025)年4月から統合情報共有プラットフォーム「Unire」(ユニーレ)のサービスが始まります。「Unire」は本学からのお知らせのほか各種サービスへのリンクなどさまざまな情報への入口となる学内利用者向け Web サービスです。

令和7年度から、本学から学生の皆さんに対する連絡は Unire により発信します。

Unire には、個人宛てを含めた授業・学生生活に関する重要な指示・連絡、安否確認の連絡、その他学生の皆さんにお知らせすべき情報が掲載されます。掲載内容の確認漏れが取り返しのつかない事態に発展する場合がありますので、大学生活の基本として、Unire を確認する習慣を身につけましょう。

また Unire はパソコン等からのウェブブラウザでの利用に加えて、スマートフォンアプリを利用することにより、プッシュ機能と連動して日常の情報の確認をより快適に行うことが可能となります。加えて災害時の緊急安否確認にも用いられますので、ぜひ自身のスマートフォンにもダウンロードしておきましょう。

使い方や機能の詳細については以下のサイトを参照し Unire をダウンロード後、Unire 内に掲載されているマニュアルを参照してください。

「Unire」紹介 Web サイト

<https://dx.general.hokudai.ac.jp/unire/>

